

第二十六回帝國議會
衆議院

關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治四十三年二月十八日午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君	紫垣 一雄君	淺羽 靖君
千早 正次郎君	綾部 惣兵衛君	木村 長君
片岡 直温君	藤井 善助君	村松 恆一郎君
早速 整爾君	小川 平吉君	大久保弁太郎君
水間 此農夫君	武藤 金吉君	石橋 爲之助君
森田 勇次郎君	高橋 光威君	山本 悌二郎君
田中 龜之助君	築山 和一君	秋岡 義一君
千田 軍之助君	山田 又七君	井上 角五郎君
長島 鷺太郎君	箕浦 勝人君	村上 先君
川村 曄君	川真田德三郎君	鷺田 土三郎君
太田 清藏君		

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 萩原 守一君	大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君
大藏書記官 野中 清君	農商務省商務局長 大久保利武君
農商務省農務局長 下岡 忠治君	農商務省書記官 岡 實君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ	

大藏技師 矢部規矩治君	大藏技師 早川 繁雄君
大藏技師 阪口武之助君	農商務技師 伊藤 悌藏君
農商務技師 大山清一郎君	農商務技師 莊司市太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

○委員長(野田卯太郎君) 是ヨリ開會シマス
○綾部惣兵衛君 質問ガアリマス、六類ノ二百五デス龍腦及艾片……
○委員長(野田卯太郎君) チョット説明サセマセウカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第六類ハ藥材化學藥、製藥其ノ調合品及爆發藥トアリマス、此中爆發藥ハ現行ハ十九類ノ雜品ノ中ニ入ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ分類ノ都合上第六類ノ中ヘ合セタノ外分分類ハ現行ト變リハアリマセヌ、此類ニ屬スルトコロノ品物ハ普通ノ藥材ハ從價二割、現行モ大體從價二割ヲ以テ出來テ居リマス、改正案モ此點ハ別ニ改正ヲ致シマセヌ、中ニ無稅トナリ或ハ稅率ノ増減ヲ致シマシタノハソレ、理由ガアリマス、重ナルモノヲ申上ゲテ見マスト麝香、人造麝香、斯ウ云フヤウナモノハ五割ヲ三割乃至一割ニ減ジマシテ、此麝香トアル百二十四ハ所謂天

然ノ麝香デアリマス、是ハ重ニ賣藥ニ入レテ使ヒ、又ハ香料トシテ使フモノデアリマス、次ノ百三十五「人造麝香」是ハ天然麝香トハ用途異ニシテ居ルノデ、主トシテ是ハ石鹼トカ齒磨トカ其他種々ノ化粧品ニ混入シテ香ヲ付ケルト云フコトニナッテ居リマス、從ッテ此稅率ヲ廉ク致シマシタルハ今日デハ是等ノ人造麝香ヲ入レテ造ッタルコロノ製品ガ、支那地方ニ向ッテ重要ナル輸出品トナッテ居リマス、其輸出品ノ原料ニ使ハレルモノデアルト云フ點ニ於キマシテ、人造麝香ハ稅率ヲ輕クスルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ百四十「沒食子、五倍子」其他イロ／＼ノ物デアリマスガ、是ハ無稅ニ致シマシテ、是ハ御承知ノ通り織物ノ下染ノ材料デアリマスガ、此中ノ多クハ内地ニ生産シナイトコロノ原料品デアリマス、而シテ織物ノ下染ニナルコロノ原料品デアルト云フ趣意ヲ以テ無稅ニ致シマシタル、ソレカラ百四十三、百四十四、是ハ護謨類デアリマス、護謨ハ御承知ノ通り、是亦日本内地ニハ産シナイ物デ、總テ輸入ヲ仰グ物デ、今日デハ内地ニ護謨製造業ガ段々起ッテ來テ居リマス、斯ウ云フ内地ニ生産セザルトコロノ品物ハ製造品ノ原料ニナルト云フ趣意ヲ以テ此ニツハ有稅ノモノヲ無稅ト致シマシタル、ソレカラ其外格別一々説明申上ゲル程ノコトハアリマセヌガ、唯今二百五ノ龍腦艾片ノ御問ガアリマシタカラ……

○綾部惣兵衛君 マダ聽キマセヌ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御問ハアリマセヌガ便宜上稅率ノ變更ヲ成シタコトヲ申上ゲテ置キマス、龍腦艾片ハ現行ノ國定ガ四割デアリマス、ソレヲ一割ニ致シマシタル、此龍腦艾片ハ近年迄ハ南方ノ支那地方カラ輸入シタモノデアッタデアリマス、近年ニ至ッテハ獨逸カラ人造ノモノガ這入ッテ來ルヤウニナリマシタル、ソコデ此龍腦艾片ハ御承知ノ通り樟腦カラ——龍腦ノ如キハ樟腦ヨリ製造ヲシテ造ルコトノ出來ルモノデアリマス、内地ニモ此龍腦ノ製造ヲヤッテ居ルモノガアリマス、ソコデ此稅率ヲ研究致シマストキニハ内地ノ龍腦ノ製造ノコトモ考ヘ、又外國カラ輸入スル狀況モ見マシテ、而シテ此龍腦艾片ガ主モニドウ云フモノニ使ハレテ居ルカト云フコトヲ考ヘマシテ、而シテ此稅率ヲ廉クスルガ宜イト云フコトニ結著シタルデアリマス、デ用途ハ是ハ又他ノ芳香性ノ藥品ト同ジク、ヤハリ此輸出ノ原料トナッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係デアリマシテ、斯様な品物ハ輸出ノ原料ニ使フモノデアラカラ稅率ノ低イノガ適當デアラウ、且内地デ出來マス龍腦ノ品質ト云フヤウナ點モ考ヘテ見マスルノニ、斯様な原料品ニ向ッテハ品質ノ良イモノヲ成ルベク低稅ニシテ入レル方ガ得策デアラウ、斯ウ云フ趣意デアリマス、尙詳細ナルコトハ御問ニ依ッテ御答ヲ申上ゲマス、ソレカラ爆發藥ノ部類是等ハ現行ト餘リ大シタ變更ハゴザイマセヌ、大體ニ於テ稅率ヲ變更シナイ斯ウ云フ趣旨ニナッテ居リマス

○綾部惣兵衛君 龍腦及艾片ニ付テ質問ヲ致シマス、唯今大要御説明ガアリマシタル、尙私ハ了解ヲセヌトコロガアリマスカラ更ニ御尋ヲシマス、龍腦ハ申迄モナク、古來支那ヨリ我國ニ輸入サレルトコロノ物品デ、或ル場合はハ藥劑ニ使ヒ、或ハ場合ニハ

薰香ノ材料トシテ使テ居ルヤウデ、支那ノ國產物デアリマスルガ明治十六年頃デアリマシタカ、本邦ニ於テ此研究ヲ其後二十二年頃カラ製造ヲ始メテ、段々其製造モ進歩シマシテ今ハ最モ完全ナル支那ノ龍腦ニモ劣ラザルトコロノ龍腦ハ我國ニ出來ルヤウニナツタ、我國ノ龍腦ハ申迄モナク樟腦ヲ變製シテ、樟腦ナルモノヲ原料トシテサウシテ拵ヘルモノデアデ、臺灣ガ我領土トナリマシテ以來、丁度臺灣ニ於テ砂糖ノ澤山出來ル如ク、樟腦ガ澤山臺灣ニ於テハ出來ルノデ、其以來我國ハ世界第一ノ樟腦國トナツタ、此世界第一ノ樟腦國タル我國ニ於テハ此樟腦ヲ變製シテ、サウシテ龍腦トシテ今ヤ之ヲ各國ニ輸出スルト云フ場合ニ相成ッテ居ル、將來益、是ハ有望ナ國產ト相成ッテ居ルニモ拘ラズ、政府ハ此度ノ改正案ト現行法ヲ比較シテ見マスルト、現行法ノ四割、一斤ニ付テ二圓ノモノヲ改正案ニ依リマス一斤二十七錢五厘、一割ト云フモノニ外國カラ輸入スルトコロノ龍腦及艾片ノ稅ヲ低減スル、モウ現今ノ有様デハ餘所カラ輸入ヲ仰グ必要ハナイ程マデニコチラガ發達シテ居ルノデアルカラシテ、コチラノ品物ヲ外ヘ出スト云フコトヲ目的トシナケレバナラヌト思フ、我國產ニ對スルトコロノ競爭品ニ對シテ國產ヲ保護シテ、サウシテ之ヲ進歩發達セシムルト云フ法ヲ政府ハ專ラ考ヘルノガ當然デアラウト思フノニ拘ラズ、輸入スル品ノ課稅ヲ廉クスルト云フコトノ理由ハ、我國ノ此工業化學ノ進歩發達ヲ妨害シテ、サウシテ我國ノ國產ノ發達進歩ヲ阻害スルノデアルマイカト本員ハ考ヘル、サウニ云フ譯デアアルカラシテ今同ノ改正案ニ於テ龍腦及艾片ノ輸入稅ヲ低減シタト云フ理由ガ、本員ニハ分ラナイ、尤モ唯今ノ御說明ニ依ルト龍腦若クハ艾片ヲ或ル輸出品ノ中ヘ薰香材料トシテ入レテ、サウシテ其製造シタルモノガ支那アトリニ輸出スルコトガ出來ルカラシテ、其目的カラ稅ヲ廉クシタト云フコトデアアルガ、一方カラ我國ノ龍腦ノ有様ヲ見ルト云フト近來追々外カラ輸入品ガ這入ルタメニ、段々製造高ガ減シテ來ルト云フ傾キガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、若シ現行法ヲ改正率ノ如キ有様ニ致シマシタラバ、我國ノ龍腦製造業者ト云フモノハ段々衰ヘルト云フコトニナリマス、此點ニ付テハ政府ハ何故ニ龍腦及艾片ヲ四割ノモノヲ一割ニ下ゲタカト云フコトヲ質問シタイ、ツレト同時ニ唯今人造ノ龍腦云々ト云フ御話ガアリマシタガ、思フニ是ハ獨逸ヨリ來ルトコロノ「ボルネオール」ノコトヲ御指シニナツタデアラウト思フ、近來獨逸カラ輸入スルトコロノ「ボルネオール」是ハ龍腦艾片ト同一ノ性質及同一ノ用途ノ品物デアラニモ拘ラズ、今回ノ改正案ニハ是ハ加ヘラレテ居ナイ、元來此龍腦ト云フモノト「ボルネオール」ト云フモノトドレダケノ違ヒガアルカ、獨逸カラ來ルトコロノ「ボルネオール」ト云フモノノヲ日本ニ譯セバ龍腦トナル「ボルネオール」ト云フコトハ龍腦ト云フコトデアアル、「ボルネオール」是ハ其名稱ノミガ龍腦デハナイ、化學的ノ性状性質及用途モヤハリ均シク龍腦艾片ト同様ノモノデアアル、毫モ龍腦ト云ヒ、艾片ト云ヒ「ボルネオール」ト云ヒ、此間ニ少シノ違ヒモ見ナイノデアアル、唯產地ガ「ボルネオール」ハ獨逸デアルト云フコト、龍腦艾片ハ日本若クハ支那ニ產スルト云フダケノコト產出地ガ違フト云フダケノモノデ、其用途モ性質性質モ同一デアアルニモ拘ハラズ、此改正案ノ中ニ「ボルネオール」ヲ加ヘラレテ居ナイ理由ハ如何ナル理由デアアルカ、尤モ自分ノ調査シマスルトコロニ依リマス此「ボルネオール」ハ協定稅率、即チ日佛條約ノ附屬稅目第三九ノ薰香類ノ丙號ニ依ッテ一割ノ稅ヲ課セラレテ居ルヤウニ思ハレルガ、此日佛追加條約ノ附屬稅目第三九薰香類

ノ丙號ト云フモノヲ見マスルト云フト「ボルネオール」ヲ加ヘルトコロガナイノデアアル、日佛條約ノ附屬稅目ヲ見マスルト、三九薰香類其丙ノ方ニハ「其他液體ニアラザル薰香即チ「ソルト」「パーダー」「コスメチック」「ボメード」「ベースト」其他之ニ類スル化粧用芳香料ニ屬セサルモノトス」斯ウ云フ箇條ニ相成ッテ居ル、此中ニ政府ハ「ボルネオール」ヲ加ヘテ一割ヲ課稅シテ居ルト思フ、此薰香類ト云フモノハ此丙ノ部ニ於テハ其他之ニ類スル化粧用芳香料ト云フ部デ、多分此中ヘ加ヘテ居ルデアラウト自分ハ考ヘマスガ、是ハ大變違ヒハセヌカト考ヘテ居ル、此薰香類ト云フ項目ハ或ル二個以上ノモノヲ調和製造シテ、而シテ芳香料品ヲ指シタノデアアル、此未製品原料類ヲ加ヘルトコロノ「芳香料品ヲ拵ヘルトコロノ原料タル「ボルネオール」ニ之ヲ適用スルト云フコトハ違ッテ居リハセヌカト私ハ考ヘルノデアアル、若シ此薰香類ノ中ニ「ボルネオール」ヲ加ヘテナイモノトシマスレバ「ボルネオール」ハ何處ヘ加ヘテ課稅シテ居ルカ、若シ本員ノ解釋ノ如ク此日佛追加條約附屬稅目ノ薰香類ノ中ニ「ボルネオール」ヲ加ヘルト致シマスレバ、是ハ當局者ガ間違ッテ居ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアアル、此「ボルネオール」ヲ龍腦及艾片ノ中ニ加ヘナカッタ理由ヲ承リタイ

○千田軍之助君 チョット序デニ此龍腦ノ我國一箇年ノ需用額ハドレ位ニ達シテ居ルカト云フコトヲ、併セテ御答ヲ願ヒマス

○綾部惣兵衛君 尙序デニ御答ヲ願ヒマス、自分ノ調査スルトコロニ依リマス云フト、此獨逸產ノ龍腦即チ「ボルネオール」ガ入ッデ以來、本邦ノ龍腦ト云フモノハ大ニ競爭ニ負ケテ居ル、嘗テハ此三十九年度ノ表ニ依ッテ見マスルト云フト、清國產ガ一斤ニ付テ八圓五十錢カラ八圓八十錢位、其當時本邦產ノハ六圓八十錢乃至六圓五十錢位、獨逸產ガ六圓五十錢位デアアル、所ガ段々今日トナツテハ四十一年度カラ三十九年度ヲ較ベテ見マスルト云フト、清國產八圓五十錢ノモノハ六圓五十錢乃至六圓、本邦產六圓五十錢ノモノハ四圓乃至四圓五十錢、獨逸產三圓五十錢乃至三圓五十錢、四十二年度ハ清國產五圓八十錢乃至五圓五十錢、本邦產三圓六十錢乃至三圓五十錢、獨逸產二圓乃至一圓七十錢ト段々「ボルネオール」ノ方ガ直ガ廉クナツテ來タ、此二圓乃至一圓七十錢ト云モノニ對シテ三圓六十錢乃至三圓五十錢ト云フ本邦ノ龍腦ヲ以テ戰フト云フコトハ、到底競爭ハ出來ナイト云フ狀態デアアル、此有様デ行クト我國ノ龍腦ト云フモノハ漸々衰頹シテ行ク、又本邦ニ產出スルトコロノ龍腦ノ生産額カラ見マシテモ明治三十八年度ニ於テハ約二萬八千斤バカリアル、三十九年度ニハ一萬八千斤バカリ、四十年年度ニハ一萬三千斤、四十一年度ニナルト約八千斤、四十二年度ニ於テハ五千六百斤バカリ、斯様ニ減額シテ居ル、此減退スルト云フモノハ畢竟政府ガ此「ボルネオール」ニ對シテ獨逸產ノ龍腦ニ對シテ特別ナ保護ヲ與ヘ、内地ノ龍腦ニ對シテ保護政策ヲ取ラヌ結果デハナイカト思フテ居ル、是モ併セテ質問シテ置キマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 綾部君ノ御問ハイロ／＼ノヤウデアッタヤウデアリマスガ、要スルニ此龍腦艾片ト獨逸ヨリ輸入スルトコロノ「ボルネオール」ト云フモノトノ關係ハ如何デアアルカト云フ御問ノヤウデアリマス「ボルネオール」ハ無論御問ノ通デス、性質其他ニ於

テ龍腦トチヨットモ違ハヌノデアリマシテ、ソレ故ニ龍腦及艾片ト共ニ二百五號ニ入レテ課税スル積リデアリマス、此中ニ這入ルノデアリマス、ソコデ、ス龍腦及艾片ノ今同一割ニ改正スルト云フコトハ先キニモ申シマシタ通り、輸出品ノ大切ナ原料品トナツテ且品質ニ於テ内地ニ於テ出來マスニコロノ龍腦ハ到底其外國カラ入ルトコロノモノニ及バヌノデアリマス、品質ノ上ニ於テサウ云フモノノ輸出品ノ原料ニ必要ナルモノデアルト云フ點ハ考ヘテ此品物ノ税率ハ低イ方が適當デアル、斯ウ云フコトデ税率ヲ一割ト定メタノデゴザイマス、今日外國カラ入ッテ來マス——獨逸カラ入ッテ來マスニコロノ「ボルネオール」ニ一割ノ税率ヲ適用シテ居ルノハ、日佛ノ協定解釋ニ基キテ一割ヲ適用シテ居ルノデアリマス、日佛協定ノ「薰香類」ニ對スル規定ハ「ヨロ」ニ書イデアリマスケレドモ、必シモ此協定ノ「薰香類」ナルモノハ、一種以上ノ藥劑ヲ以テ調合シタトコロノモノニ限ルト見ルノハ餘リニ狹イ解釋デアルト思フ、既ニ昨日ノ第五類九十五植物性揮發油、是等ニ付テモ政府ハ此協定税率ヲ與ヘテ然ルベキモノト云フ解釋ヲ取ツテ居ルノデ、現今一割ノ協定税率ヲ適用シテ居ル次第デアリマス「ボルネオール」ニ付テモ亦「薰香性」ノ藥品デアルト云フコトハ誰モ爭ヒノナイコトデアリマスカラ、今日協定ヲ適用シテ居リマス、ソレカラ龍腦及艾片ノ輸入額——千田君ノ御問デゴザイマスガ、四十一年ハ八万二千圓バカリデアリマス

ノハ天然物デアル、支那カラ這入ッテ來ル白イ色ノ龍腦ハ日本デハ龍腦ト云ッテ居リマスガ、支那デハ艾片ト云ッテ居ル、獨逸ハ人造デ拵ヘルノ「ボルネオール」ト云ッテ居ル、税率ニ書ク場合ニハ龍腦及「ボルネオール」ト書イタ方が適當デアル、ソコデ此龍腦ト云フモノハ藥品ニ加ハリマスケレドモ、是ハ興奮劑ノモノデアッデ、興奮劑ハ龍腦ヨリハ日本固有ノ樟腦ノ方が宜イ、龍腦ハ主トシテ「薰香」用ノモノデアリマス、薰香用デアルカラ無論重稅ヲ課シテ宜カラウト思ヒマス、是ヲ同ジ意味ニ於テ人造「薰香」ノ如キモノモ最モ贅澤物デアリマスカラ重稅ヲ課シテモ宜イ、近來滿洲地方ニ賣藥ガ盛ニ出ル、七八十萬モ入ル是等賣藥ノ原料ニナルニコロノモノハ百二十八ノキナ皮、百四十一ノ阿仙藥ツンナヤウナモノハ賣藥ノ代用デアル、其用方ハ人造「薰香」ヤ揮發油ノ如ク僅カ使フモノデナクシテ、材料中ノ主ナル成分ヲ爲スモノデアル、左様ナモノハ外國ニ輸出スルトコロノ商業ノ主ナル原料デアルガ、從來カラソレニ二割ト云フ税率ガ掛ケテアル、是ガ無稅ニナル方針ノヤウニ考ヘマス、ソレカラ百二十八ノ沈香ト申スモノガゴザイマスガ、是モ良イ品物ニナルト二十圓、下ノモノハ一圓位ノトコロモアリマス、是モ贅澤品デ佛敎信者ガ燃ヤストコロノモノデアル、是モ百斤千圓ノモノヲ輸入シテモ六十九圓三十錢、百斤百圓ノモノヲ輸入シテモ六十九圓三十錢デアリマスカラ、良イ品物バカリシカ這入ッテ來ナイ、ソレ故ニ粗造ノ物ハナイカラ已ムヲ得ズ良イ品ヲ用弗ル、是ナドハ僅カデアリマスケレドモ、其需用者ニ取ツテハ何デモナイガ、ソレナドハ從價稅ニ掛ケルノガ至當デアル、若シ從價稅ガ不便デアレバ第四類ノ「監甲」ノ如キ甲乙丙等ニ區分シタ方が宜カラウト思フ、サウシナケレバ大變不都合デアルト考ヘル、之ニ付テ政府委員ノ答辯ヲ願ヒマス

○千田軍之助君 我國ノ需用デス

○綾部惣兵衛君 只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依レバ「ボルネオール」ハ龍腦及艾片ト要素及ヒ性質上ニ於テ異ナル所ガナイ、斯ウ云フ御答辯デアル、本員モ同様デアル、シテ見レバ龍腦及艾片ト云フ處ヘ「ボルネオール」ヲ加フルコトガ至當デアルト考ヘル、所ガ此中ニハ漏レテ居ル、ソレカラ日佛追加條約ノ方カラ云フト、此附記ノ中ノ天然及人造「薰香」ハ薰香類ニ屬セザルモノトシテ六類ノ方ヘ入ッテ居ル、是同ジク「ボルネオール」モ之ニ入ルベキ性質ノモノデアラウト思フ、ソレカラ此「ボルネオール」ハ外國ノ方が性質ガ宜イ、是ハ議論ニ互ルカ知レマセヌガ、本邦產ヨリ外國產ガ宜イト云フコトヲ政府委員ガ言ハレテ居ルガ、是ハ大變間違ッタコトデアル、本邦產ノ龍腦ト雖モ「ボルネオール」ニ今日ハ劣ラナイモノデアッデ、政府ハ之ヲ十分ニ保護獎勵スレバ世界ニ有數ナ物產ニナルノデアルト自分ハ考ヘテ居ル、此際政府ハ「ボルネオール」ヲ龍腦及艾片ノ方ニ入レルト云フ御見込ハナイカト云フコトヲ承ッテ置キマス

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依レバ「ボルネオール」ハ龍腦及艾片ト要素及ヒ性質上ニ於テ異ナル所ガナイ、斯ウ云フ御答辯デアル、本員モ同様デアル、シテ見レバ龍腦及艾片ト云フ處ヘ「ボルネオール」ヲ加フルコトガ至當デアルト考ヘル、所ガ此中ニハ漏レテ居ル、ソレカラ日佛追加條約ノ方カラ云フト、此附記ノ中ノ天然及人造「薰香」ハ薰香類ニ屬セザルモノトシテ六類ノ方ヘ入ッテ居ル、是同ジク「ボルネオール」モ之ニ入ルベキ性質ノモノデアラウト思フ、ソレカラ此「ボルネオール」ハ外國ノ方が性質ガ宜イ、是ハ議論ニ互ルカ知レマセヌガ、本邦產ヨリ外國產ガ宜イト云フコトヲ政府委員ガ言ハレテ居ルガ、是ハ大變間違ッタコトデアル、本邦產ノ龍腦ト雖モ「ボルネオール」ニ今日ハ劣ラナイモノデアッデ、政府ハ之ヲ十分ニ保護獎勵スレバ世界ニ有數ナ物產ニナルノデアルト自分ハ考ヘテ居ル、此際政府ハ「ボルネオール」ヲ龍腦及艾片ノ方ニ入レルト云フ御見込ハナイカト云フコトヲ承ッテ置キマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 私ノ前回ノ説明ガ惡ルカツカ知レマセヌガ「ボルネオール」ハ之ヲ譯シテ龍腦ト斯ウ考ヘテ居リマス、龍腦ト云ヘバ成程支那ノ……

○綾部惣兵衛君 宜シウゴザイマス、私モサウ思ッテ居ル、此龍腦ノ中ニ「ボルネオール」モ入レデアルノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 無論サウデアリマス

○綾部惣兵衛君 其コトヲハッキリ承ッテ置ケバ修正ノトキニ都合ガ宜イ、今迄ハ入ッテ居ラヌト思ヒマシタ

○驚田十三郎君 「ボルネオール」ノコトニ付テ御話ガアリマシタガ、元來龍腦ト云フモ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

○綾部惣兵衛君 近來醋酸ガ我國ニ於テ多量ニ製出セラル、コトハ政府モ御承知デ

アリマセウガ、醋酸ハ工業上有要ナル藥品デアッテ、本員ハ龍腦ノ如キ我國ノ國產ヲ保護シ、工業化學ノ發達ヲ獎勵スル政策トシテ輸入品ノ醋酸石灰ニ重稅ヲ課シタイト云フ意見ヲ持ッテ居リマスガ、此醋酸ハ我國ノ有要ナル物品ト漸ク相成ツタ、而シテ醋酸ハ醋酸石灰ヨリ製出スルモノデアッテ、醋酸ヲ保護セントスレバ先ヅ以テ醋酸石灰ニ向ッテ保護シナケレバナラヌ、所ガ外國カラ輸入スル醋酸石灰ニ對シテ、政府ハ輕イ稅ヲ掛ケテ置クト云フコトハ何故デアルカ、私ハ問ハント欲スルコトデアアル、殊ニ我國ニ於テハ古來木炭ヲ常ニ使用シテ居リマス、故ニ木炭ノ製造場ハ全國到處ニアルノデアリマス、從ッテ全國到處ニ木炭ヲ作ル炭燒電カアル、即チ石燒電ニ依ッテ木炭ヲ燒ク傍ラ元費ヲ費サズシテ醋酸石灰ハ副產物トシテ出來テ居リマス、此方法ハ藥學博士下山順一郎君ガ唱道シテ以來、各地到處ニ炭燒ノ傍ラ醋酸石灰ヲ副產物トシテ製造スルコトハ發達シテ居リマス、埼玉縣附近ノ多摩川村ニモヤッテ居リマス、又栃木縣方面ニモヤッテ居リマス、斯様ナ有益ナル事業ガ今日起ッテ居ルニモ拘ラズ、政府ハ之ヲ保護獎勵シテ此醋酸ノ原料トナル醋酸石灰ヲ保護スル政策ヲ何故ニ政府ハ御採リニナラナイノデアアルカ、折角我國ニ於ケル化學ガ進步シテ斯様ナル發明ガ出來テ、外國ニハナイ木炭ヲ多量ニ使フ我國ニ於テ、炭燒ノ傍ラ有益ノ品物ガ出來ル今日ニ於テ、輸入シテ來ル醋酸石灰ニ對シテ相當ノ課稅ヲシテ我國ニ於ケル醋酸石灰ヲ保護スル政策ヲ採ル方ガ國ノためニ利益デアリカ、改正案ニ依ルト醋酸石灰ハ五歩ノ課稅ヲシテアル、外ノ藥品ハ平均二割課稅シテ居ルニモ拘ラズ、特ニ此有益ナル醋酸ヲ製出スベキ原料タル醋酸石灰ニ五歩ノ課稅ヲシテ居ルト云フヤウナ輕イ稅ヲ課スルコトハ、我國ノ物產ノ發達ヲ阻害シテ不利益ト考ヘマスカラ、此邊ニ付テ政府ノ御考ヲ伺ヒマス

○鷺田十三郎君 唯今醋酸石灰ノ御質問ガアリマシタガ、是ハ迂濶極マツタ質問デアリマスカラ政府委員ニ代ッテ私カラ御答致シマス(笑聲起ル)醋酸石灰ハ木炭ヲ燒ク副產物トナッテ出來ルニ違ヒアリマセヌガ、炭ノ燒方ニ依ッテ出來メヌノデ、埼玉、那須、水曾地方デ少々出來テ居リマスガ、日本デ醋酸ヲ取ル材料トスルニ足リマセヌカラ、是非共外國カラ輸入ヲ仰ガナケレバナリマセヌ、唯今大ニ亞米利加カラ入リマスガ、獨逸デモ醋酸ヲ作ル原料ヲ亞米利加カラ取ッテ居ル、獨逸ハ醋酸石灰ハ無稅デアリマス、我國デハ藥用トスルヨリモ寧ろ染物用、工藝用及食卓用ノ酢ノ物ノ原料トシテ澤山用ヲラレ、故ニ醋酸ニ對シテハ此改正案ヨリ今一層重稅ヲ課シタガ内地ノ醋酸石灰ト云フモノハ原料デアリマスカラ、寧ろ五分ヲ止メテ無稅ニナッタラ宜デアラウト思フ、今醋酸製造會社ハゴザイマスガ、大キナ機械ヲ取寄セテソレデ醋酸石灰ヲ造ル計畫ヲシテ居ルサウデアアルガ、ナカノ日本デ造ル醋酸石灰デ、獨逸カラ澤山輸入ッテ來ル醋酸ト競争スルコトハ到底コ、一年ニ二年ノ中ニハ望マレマセヌ、縱令内地デ立派ニ醋酸ガ出來マシテモ恐ラクハ米國ナドカラ入ッテ來ル醋酸石灰ト較ベテ經濟ト得失如何ガト思フ位デ、寧ろ是ハ無稅ニナッテモ宜シヤウニ思フ、是ハ綾部君ノ御考ガ少シ迂濶デアアルカラ、皆様ノ誤ヲ正ステメニ一應辯ジテ置キマス

○綾部惣兵衛君 私ハ鷺田君ニハ一言ノ質問モシナイデス、故ニ鷺田君カラ答辯ヲ求メル必要ヲ認メナイ、私ノ問ハントスルコトコハ政府委員ニ質問ヲシタデス、鷺田君ト私トヤルト茲デ議論ヲ聞ハスコトニナリマスガ、鷺田君ト私ト議論ヲスル必要ハアリ

マセヌ、政府委員ニ對シテ私が問ハントスルノハ此醋酸石灰ト云フモノハ、斯ヤウニ今日我邦ニ於テ醋酸ノ原料タル醋酸石灰ガ出來ルニモ拘ラズ、之ヲ保護スル見込ガナイカ、外國カラ入ッテ來ル醋酸石灰ニ對シテ重キ課稅ヲシナケレバナラヌ、ソレカラ日本ノ醋酸石灰——日本デ醋酸ノ原料ガ出來マスカラ、日本ノ醋酸ヲ發達スル原料ハ成ルベク保護シタイト云フ趣意カラ此事實質問致シマシタ、私モ此外國カラ入ルトコロノ醋酸ニ重キ稅ヲ課シタイト云フハ鷺田君ト同意見ヲ有ッテ居リマス、先刻言葉ガ足ラナカッタカモ知レヌガ、醋酸ト云フモノハ稅ヲ低クシタイト云フ見込ハナイ、外國カラ輸入スル醋酸ナルモノヲ何故ニ課稅ヲ十分重クセヌカ、ソレト同時ニ醋酸石灰ヲ拵ヘル原料ハ我國デ出來ルモノニ、外國カラ來ルモノヲ何モ獎勵セヌデモ、我邦デ出來ルモノヲ獎勵シテ參レバ我邦デ出來、而シテ醋酸ガ我國デ出來ルコトニナッテ大ニ利益ヲ見ルコトカト云フ考カラ政府ニ質問ヲシタノデアアル、鷺田君ト私ハ何モ意見ヲ聞ハス必要ハアリマセヌ

○淺羽靖君 私モ此醋酸ニ付テハ一ノ疑ヲ有ッテ居リマス、今日ハ醋酸ガ段々輸入シテ來テ吾々將來日用ノ食料ニ要スル酢マデ皆舶來ニ依ラナケレバナラヌヤウニナッタデアリマス、ソレデ日本ノ狀態ヲ見レバ實ニ樹木ノ多イ國デアッテ、殊ニ炭ヲ多ク利用スル國デアアル、然ルニ此副產物タル醋酸ト云フモノハ皆棄テ、シマフ、若シ之ニ對シテ相當ノ方法ヲ講ズレバ世界各國ニ日本ノ醋酸ガ多大ノ輸出ヲスル力ヲ有ッテ居リマス、然ルニ唯外國ノ輸入ガ必要デアルト云フヤウナ考カラシテ、此醋酸ニ多大ノ輸出力ヲ有ッテ居ルモノデアアルガ、政府ハソレ等ノ目的ヲ達シ能ク御見込デアリマセウカ、又ソレハ自然ニ任シテ唯課稅主義ニ止メテ置クト云フ御考ガ其他イロノゴザイマスガ、今醋酸問題ガ起ッテ居マスカラ、一應ソレデケラ併セテ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 醋酸石灰、醋酸ニ付テ御答致シマス、醋酸石灰ト醋酸ニ付テハ近年ノ議會デ此稅率ガ改正ニナリマシタコトハ御承知ノコト、思ヒマス、即チ四十一年ニ改正ニナッタノガ現行ニナッテ居ルノデアリマス、即チ醋酸石灰ハ五分、醋酸ハ三割三分ト云フコトニナッタノハ四十一年カラデアリマス、此稅率ノ極マリマシタコトヲ申上ゲマシタナラバ御質問ノ御答ニ總テナルデアラウト思ヒマス、醋酸石灰ノコトハ先刻鷺田君カラモ御話ガ出マシタガ、成程今日或ル府縣ニ於テハ醋酸ノ製造ハ——石灰ノ製造ハ行ハレテ居リマス、綾部君ガ先刻御舉ゲニナッタ外ニ靜岡縣デモ縣廳ガ獎勵シテ炭燒電ニ一層ノ構造ヲ加ヘテ、サウシテ醋酸石灰ヲ採收スルト云フコトハ大ニ縣廳モ獎勵シテ居リマス、醋酸石灰ガ採レテ居ルト云フコトハ御說ノ通りデアアル、併シマダ此醋酸石灰ノ製造ハ我邦ノヤリ方ハ幼稚ト云フテモ宜シイ狀況ニアル、從ッテ出來ルトコロノ醋酸石灰ニハ十分ノ點ガ多イ、純醋酸ノ「パーセンテージ」ガ少ナイ、併シ此製法ヲ改良致シマシタナラバ良イモノガ出來ルヤウニナリマセウガ、今日デハマダ日本デ醋酸ノ製造スル原料ニハナカノ、マダ足ラヌデアリマス、醋酸ナルモノハ御承知ノ通り工業用ニ必要ナル品物デアリマスカラ、是ガ我邦ニ於テ出來ルヤウニナレバ、頗ル結構ナコトデアアル、殊ニ醋酸石灰ノ如キモ炭燒ト云フ事業ハ日本ニアリマス、ソレカラ將來原料ガ取レテ其原料ニ依ッテ醋酸ガ日本内地デ製造サレヤウニナリマスレバ頗ル宜イコトデアルト云フ考ヲ有ッテ居リマスコトハ、諸君ト吾々ハ違ヒアリマセヌ、ソコデ然ラバ何セ醋酸石灰ニ重イ

稅ヲ課サヌカト云フ御説モアリマスガ、此五分ノ稅率ハ醋酸ノ三割三分——百斤八圓ト云フ稅ヲ課シタルニ鈞合ヲ取リマシタルヲ、當時精シク計算致シタルモノデアリマス、外國カラ參ル醋酸石灰ハ何ボアル、日本ノハドノ位アル、純分ガアルト云フ比較ヲ採リマシテ五分位課ラ致シタルヲ、内地ノ醋酸石灰ノ製造ト云フモノガ十分立ッテ往ク、唯今私ノ手許ニ其計算ト云フモノハ持ッテ居リマセヌガ、御覽ニ入レルコトハ出來マス、サウ云フ計算ヲシテ内地ノ醋酸石灰ノ製造ヲ害セズ、内地ニ醋酸ノ製造ガ起リ得ル程度ヲ考ヘテ茲ニ五分、三割三分ノ率ガ極ッテ譯テ、醋酸ヲ内地ニ製造スルコトモ其方針ヲ取ッテ居ルト云フコトハ質問ナサル諸君ト、政府ト考ヘ同ジデアリマス、唯醋酸ノ稅ヲ何故高クセヌカト云フコトニナリマス、是ハ御承知ノ通り食酢ニモナリマスシ、ケレドモ亦是ハ染物工業ノ上ニ於テ大切ナ原料デアリマスカラ、之ニ又高イ稅ヲ課スルコトハ是ハ考ヘナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ次第デ石灰ト醋酸トハ餘程精密ナ計算ヲ取ッテ稅率ガ定ッテ居ル次第デアリマス、ソレデケラ御答シテ置キマス

○小川平吉君 先刻鷺田君カラ滿洲アタリニ輸出スル藥材ノ原料トナルベキ甘草トカ、桂皮トカ、大黃ト云フモノニ付テ關稅ノ率ガ重過ギハセヌカト云フ有益ナル御問ガアリマシタガ、之ニ付テ御答ガナカッタヤウニ思ヒマス、鷺田君ハ大層御手回シ能ク政府委員ニ代ッテ御答辯ヲナサイマシタガ、此點ノ御答ガナカッタヤウデアリマスカラ、私ハ鷺田君ニ代ッテ御答ヲ求メマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 小川君ノ御問デアリマスガ、先刻簡單ニデハアリマスガ御答シタ積リデアリマス、麝香ニ付テハ申上ケテ置キマシタ

○小川平吉君 麝香ニ付テハ分ッテ居リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是ハ大ニ獨逸アタリノ競爭ニ向ッテ往カナケレバナラヌ、化粧品其他ノ原料デアリマスカラ、其反對ニ賣藥ハサウ直接ニ諸外國ノ競爭ヲ受ケルト云フ品デハナカラウ、斯ウ云フ意味デ御答ヲシタ積リデアリマス

○小川平吉君 競爭ノ點デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ハイ

○高橋光威君 私ハ龍腦及艾片、又ハ木精ト云フヤウナモノニ付テ御尋ネラシタイノデアリマスガ、此本年政府ノ提出セラレタル豫算案ニ樺太ノ特別會計「テレピン」油ノ試驗ノタメニ費用ヲ要スルデアリマスガ、其龍腦ト云フヤウナモノハ「テレピン」ヲ加工シテ出來得ルモノダサウデアリマス、「テレピン」ト云フヤウナモノハ「テレピン」ヲ加工シテ得ル、其當時政府ノ説明ニモ大層大體ナ話ガアッタデアリマス、而シテ此龍腦ノ如キハ多少之ニ化學的ノ加工ヲ致シマスレバ、多量ニ之ヲ造ルコトガ出來ルモノデアリマスガ、然ルニ是ハ原料デハアルケレドモ——輸出品ノ原料トナルモノデアアルケレドモ内地ニ十分ニ出來得ルモノナラバ、必シモ外國ヨリソレヲ歡迎スル必要ハナイ、現ニ内地ニ於テモ相當ノ品質ノモノガ現在出來テ居ル上ニ、更ニ樺太廳ニ於テハ多量ニ之ヲ產出シ得ル見込ガアル、ノミナラズ現在豫算ヲ以テ議會ニ協賛ヲ求メテ來テ、既ニ衆議院ヲ通過シテ來テ居ル今日ノ場合ニ於テ、此龍腦ヲ四割ノ定稅率ヲ一割ニ特ニ引下ケル必要ガアルカト云フコトヲ御尋ネシタイト、モウ一ツ百九十六ト云フノハ是ハ木精即チ「ウードスビリット」ト云フヤウナル、サウデアリマスガ、是ハ日本ニ需用スルモノハ一年九百五十

萬圓位ノモノダト云フコトヲ伺ッテ居リマスガ、是モ樺太デ蝦夷松トカ云フモノ、上ノ方ヲ碎イテ拵ヘルサウデアリマス、多量ニ出來ル見込ダサウデアリマス、然ルニ前ノ稅率ハ現行稅率ト同様ノ稅率デアリマスケレドモ、是モ多少増ス必要ガナキヤ否ヤ、要スルニ此第六類ニ記載サレテ居リマスモノハ多クハ化學的ノ生産品デアリマスガ、將來我國ニ於テハ化學的ノ生産物ハ漸次増加スルノ勢ガアルデアリマス、政府ノ大體ノ方針トシテハ、當分内地ニ生産セザルモノハ低稅ヲ課スルト云フ大藏省ノ御方針デアルト云フコトハ承ッテ居リマスガ、當分生産セザルモノ化學的ノ工業品ノ如キハ一年、本年ト云ッテ明年ヲ量ルコトハ出來ヌ、今月ト云ッテ來月ヲ測ラヌ、長足ノ進歩駸々トシテ發達シテ往キマスカラ當分十分ナ生産ガ出來ヌデモ、近キ將來ニ於テ發達ノ見込アルモノ、竝ニ學術ノ進歩ト共ニ晨ニ夕ヲ圖ラザルトコロノ發達ノ傾向アル化學的ノ工業品ニ向ッテハ、相當ノ保護ヲ加ヘルハ當ニ國家ノ利益デアルノミナラズ、輸出品ノ發達ニモ大ニ資スルトコロアルト考ヘマスガ、唯今言ッタル如キハ一例ニ過ギヌ、殆ド六類ニ記載サレテ居ルモノハ概ネ將來我國ニ於ケル化學的ノ工業品ノ生産品ノ發達ト云フモノヲ保護獎勵ヲ鼓吹スルコト云フ考ヲ以テ此稅率ヲ量定シナケレバナラヌト考ヘマスガ、差當リ龍腦又ハ木精或ハ「クロール」酸加里ノ如キ、是ハ「燐寸」ノ原料ニナルモノダサウデアリマスケレドモ、此ノ如キモノモ現在デハ出來ナイガ著々計畫シテ居ルモノモアル、其事實ノ成績ヲ考ヘテ見マスレバ明瞭ニ立派ニ外國ノ物ト同様ノモノガ出來ル、然ルニ之ヲ無稅トシテ居ルト云フコトハ先ニ申シマシタ化學的ノ生産物ヲ保護助長スル方針トハ甚ダ背イテ居ルヤウデアリマス、斯ルモノハ多少ノ稅ヲ加ヘテ保護セラル、御考ハナイモノデアアルカ、即チ第七十七ト云フ「セララ」第九十九ト、竝ニ二百五ト云フ是等ノ化學的ノ產物ニ向ッテハイマ少シ保護セラレルノガ必要デハナイカドウデアリマセウカ、政府委員ノ御考ヲ承ッテ置キタイノデアリマス、ソレデ殊ニ本年ノ豫算ニ計上シタ樺太「テレピン」油ト云フモノ、製造、ソレカラ龍腦ノ關係ニ付テ、此木精ノコトニ付テ政府委員ノ御考ヲ伺イタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 高橋君ノ御問ヒニ御答致シマス、此輸入各品目稅率ヲ按排シマストキニ於テハ、イロ／＼ノ方面カラ考ヲ付ケテ稅率ノ高低ヲシテアルト云フコトハ、是マデ折ニ觸レテ説明致シテ居リマスガ、此第六類ニ屬スル品物殊ニ化學的ノ工業品トモ云フベキモノニ付テハ、何分未ダ日本ノ事業ハ幼稚デアルノデ是迄出來テ居ルモノデ、外國品ヲズン／＼壓倒スルヤウニ出來テ居ルト云フモノハ誠ニ少ナイノデ、ソレハドウ云フコトカラ起ルノデアアルカイロ／＼ノ原因モアリマセウガ、是等ノ品物ハ作ルコトハ別ニムヅカシクハナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、即チ技術——技術ノ點ニハ日本ダトデモ出來ヌト云フモノデハナイト云フヤウニ聞イテ居リマス、唯工業ノ基礎ヲ大キク世界ヲ相手ニシテ作スルコトニ云フコトニナレバ大變ニ利益ハ舉シテ來ルガ、小規模ニ作ッテハドウモ十分ナル利益ヲ見ルト云フコトガ少イノデアリマス、ト云フヤウナ風ノモノガ隨分アルト云フヤウニ見エマス、ソレデ或ル程度ノ保護ノ關稅ヲ設ケレバ其品物ガ十分ニ成立得ルト云フ見込ガ確カナルモノニ付テハ、ソレ／＼按排シデアリマス、又現ニヤッテ居ラヌモノモ其見込ガ確カナルモノニ付テハ、相當稅率ノ按排ヲシデアアルコトハ此澤山ノ品物ノ中ニモ往々ニシデアリマス、併シ只今例ニ御舉ゲニナツタ品物ノ如キニナッテハ、吾々

未だ此位ノ程度ニ外國品ニ課稅スレバ十分成立テ行ク、進シテハ内地ノ需用バカリデナク、外國ニマデ押出シテ行ケルト云フ見込ガ付テ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、私共少シク未ダ疑フ持ッテ居ルノデアリマス、デ樺太ニ於テ木材ノ豐富ナルコト、或ハ紙ノ原料ガ豐富ナルカ云フコトハ豫テ聞イテ居リマス、又唯今御舉ゲニナツタコロノ木精トカ云フヤウナモノニ付テモ、從來見込アリト云フコトハ聞イテ居リマスガ、諸ソコニ工業ヲ興シ大規模ニヤツテ必ズ見込ガアルカドウカト云フコトハ、未ダ十分ナル見込アリト申スコトガ出來ルカ否ヤ其邊ハ未ダ少シ疑フ持ッテ居リマス、デ御舉ゲニナツタコロノ此木精トカ、或ハ龍腦ノ製造トカ云フコトニ付テモ、木精ニ付テハ御承知ノ通り木精ヨリ「フオルマリン」ヲ製造スルコトニナルノデアリマス、又木精ガ變性酒精ノ材料ニモ使ハレマス、サウ云フ關係ガアリマシテ「フオルマリン」ノ如キモノハ消毒劑トシテ一般ノ農家ガ養蠶室ヲ消毒スルトカ云フトキニ使フノニ大切ナモノデアリマス、是ハ工業用ニ使フト云フ必要カヲ茲ニ稅ヲ上ゲルト、上ゲタ結果ガ種々ノ方面ニ影響ヲ與ヘルコトニナリマスカラ、ソコハ餘程考ヘネバナラス、併シ與ヘテモ構ハヌ一方ノ目的ヲ達スレバ他ニ惡ルイ影響ヲ與ヘテモソレハ忍ブガ宜イト云フモノ一ノヤリ方デアリマスガ、前申シマス通り其事業ガ今日ニ於テ確ト見込ガ立ッテ居ルト云フ確信アレハ隨分ヤツテ行クノモ宜シイカト思ヒマスケレドモ、未ダ事業ヲヤリ出スト云フ程ニハナツテ居リマセヌカラ、今日ニ於テ直ニ他ノ稅率ヲ大ニ上ゲルト云フコトハ、是ハ餘程熟考ヲ要スベキモノデアル、斯ウ考ヘテ居リマス

○築山和一君 私ハヤハリ農産物保護者ノ一人デアリマスガ、此六類ノ中ノ「ホップ」デアリマス、是ハ百斤二十八圓九十錢ト云フノガ無稅ニナツテ居リマスガ、此「ホップ」ナルモノハ麥酒釀造要素トシテ最も必要ナモノデアリマシテ、此需用ハ年々莫大ナル額ニ上リツ、アルモノデアリマスガ、之ヲ無稅ニシマシタ譯ハ「ホップ」ノ培養ハ日本デ到底出來得ナイモノト御斷定ノ上カラ、斯ウ云フ風ニ無稅ニサレタノデアリマスルカ、其邊ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ此處ニ「ゼラチン」ナルモノガアリマスガ、是ハヤハリ牛皮豚ノ皮ナドカラ作りマスルモノデ、從來ハ醫藥用ニ使フノガ重モデアリマシタケレドモ、近頃ハ醫藥用ヨリ嗜好品トシテ菓子用ニ使フ「プリン」的ノモノニ作ルヤウニ見エマスガ、之ヲシテ二割ヲ一割五分ト半減シマシタノハ甚ダ當ヲ得ナイコト、思ヒマスルガ、此二點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 築山君ヨリ「ホップ」ノ御尋デアリマスガ、「ホップ」ノコトハ農商務省御調ベニナツタモノガアリマスガ、多少日本デモ出來マスケレドモ土壤ノ氣候ノ關係、十分ナル精良ナル品ヲ得ルコトガ出來ナイ、此「ホップ」ニ適當ナル土地ハ未ダ内地ニ見出し得ヌト云フ調ベニナツテ居リマス、殊ニ「ホップ」デハ協定ガアリマシテ現行ノ五分ノ協定ガ働イテ居ルノデアリマス、國定ハ一割デアリマスカラ、ソレハ働イテ居リマセヌ、サウ云フ關係釀造上ニ必要ナモノデアッテ、内地デハ耕作ニ適當ナル土地ヲ見出サヌト云フモノデアレバ、是ハ無稅ノ方ガ適當デアラウト云フコトデ無稅ニ致シマシタ、ソレカラ「ゼラチン」是ハ今回一割五分ニ減ズルコトニシマシタガ、此用途ハ御承知ノ通り菓子用デアリマスガ、又イロ／＼ノ工業ニモ用ルモノデアリマス、是等ノ點ヲ考ヘマシテ是ハ稅ヲ輕クシタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ趣意デ一割五分ニ改正スル積デゴザイマス

○淺羽靖君 簡單ニ伺ヒマスガ此第六類ノ中デ五十萬圓以上ノ金額ヲ輸入品ニ向ッ

テ拂ッテ居リマスモノハ粗製曹達六十萬圓、曹達ガ八十萬圓「クローラ酸」(ボッターズ)ガ七十六萬圓、百萬圓以上ノモノハ苛性曹達ガ百一十二萬圓、粗製醋酸「アムモニア」ガ製「アムモニア」ガ八百七十九萬六千圓、是ガ六類ノ中デ最モ外國ニ金ヲ拂フ大部分ト考ヘマスルガ、當局者ニ承ハリタイノハ是等ノ輸入品ノ大ナルモノニ向ッテハ日本國內ニ於テハ、之ニ對抗シテ進ミツ、アルベキ狀態デゴザイマセウカ、或ハ又現在ハ我國内デ是等ノモノヲ製造スルモノガ減ジツ、アル狀態デアリマセウカ、其狀況ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(大久保利武君) チョット伺ヒマスガ、内地デ用ユル化學製品デ百萬圓内外ノ輸入ノアルモノデ、苛性曹達ノ如キ其他ノモノハ内地ノ生産ト云フモノハ増シテ行クカ、減ジテ居ルカト云フ……

○淺羽靖君 サウデス、内地ノ是等ノ工業ガドウ云フ現在ノ狀態ニナツテ居ルカト云フデアリマス

○政府委員(大久保利武君) 大體ニ付テ御答致シマスルガ、此化學製品竝ニ藥品ノ如キハ御承知ノ通り我國ノ工業用ニシテ、且原料ノ一部トシテ頗ル必要ナモノデアリマシテ、御承知ノ通り此六類ノ中ニハ大分日本デ出來ルモノモアリマスシ、又出來ヌモノモアリマスルガ、大體ニ申上ゲマスレバ苛性曹達ノ如キモノモ追々ト出來ル狀況ニナツテ居リマス、數ノドノ位減ジテドノ位——御承知ノ通り苛性曹達ノ如キハ關東酸曹會社トカ、日本舍密會社トカ云フヤウナ處デ主トシテ拵ヘテ居リマスルノデ、今茲ニ舍密會社ノ調査シタ苛性曹達ノ製造額ガ出テ居リマスルガ、三十五年ニハ價額ニ於テ二十萬七千圓、漸次此製造高ガ上ツテ參リマシテ四十年ニハ三十三萬八千圓ト云フ額ニ上ツテ居リマス、又苛性曹達ノ輸入ノ狀況ヲ申上ゲマスト、是モ漸次増方ニナツテ居リマス、三十二年ニハ金額ガ五十二萬圓、進シテ四十一年ニナリマスト百一十二萬圓ニナツテ居リマス、此ノ如ク一方ニハ内地デノ製産額モ甚ダアリマスルト同時ニ輸入モ共ニ増シテ居リマスト云フノハ、内地ニ於テ是等ノ化學製造品ヲ用ル工業ノ段々發達シテ行ク證據デアリマシテ、到底唯今ノコロコロハ内地ノ製品ノミデハ是等ノ原料ヲ悉ク供給シ得ル程度ニ參ッテ居リマセヌ、尙御參考ニ一言申上ゲテ置キタイノハ、此六類ノ化學製品ノコトハ頗ル外國輸出貿易ニ關係アル品物デアリマスカラ一言申上ゲマスガ、御參考ニナレバ仕合セデゴザイマス、御承知ノ通り是等ノ化學製品ノ如キモ出來ルコトナラバ、内地デ原料ヲ拵ヘ、且此原料ヲ基礎トシテ種々ノ製品ヲ拵ヘルト云フ理想カラ言ヘバ内地デ原料ヲ得、又製品モ拵ヘルト云フコトハ頗ル策ノ得タルモノデアラウト思フ、然ルニ是等ノ藥品ヲ基礎トスル製品ヲ拵ヘマスニ付テハ、何時モ外國ニ於テ最モ輸出貿易ニ起ルベキコロノモノハ競争デゴザイマス、此競争ノ上デハドウシテモ價格ヲ成ルダケ廉クシテ世界ノ市場ニ賣擴メルト云フノガ外國貿易ノ發展、且内地工業ニ付テ最モ重キヲ爲ストコロノモノデアリマス、先日來石鹼、香油等ノ原料ニナルモノニ付テモ段々御尋ガアリマシテ、内地デ出來ルモノハ内地デヤツタ方ガ宜カラウト云フ御話モアリマシタケレドモ、大體申上ゲマスト云フト、此六類ノ稅率ト云フコトモ餘程輸出貿易ノ上ニ競争力ヲ成ダケ強クスルト云フコトノ上ニ於テ、中ニハ稅ノ低イモノ大分アルノデゴザイマス、ソレカラ外國ノ競争力ハ御承知ノ通り非常ナ餘裕ノアル力ヲ以テ、或ハ「トラス」ヲ組織ス

ルトカ、或ハ販賣同盟トカ種々ナル方法ヲ講ジテ、世界ノ市場ヲ成タケ廉ク賣ラウト云フ方策ニ出デ、居ルノデ、現ニ我邦ノ製品デモ支那並ニ印度地方デ生産費ガ廉イタメニ、ドウシテモ競争ニ堪エヌト云フコトガ非常ニ多イノデ、先程此「クローム」酸加里ノ御話モゴザイマシタガ、是ハ御承知ノ通り燐寸ノ原料トシテ最も必要ナル原料デゴザイマス、是モ先刻モ御話ガアリマシタガ、内地デ此製造ニ從事スル計畫ハアルノデアリマス、併シ是等ノモノハ少シデモ税ガ上レバツレバ値段ノ高クナル傾向ヲ持コトハ言フマデモアリマセヌ、此燐寸ハ支那ノ市場印度ノ市場ニ於テ非常ナ競争ヲ致シテ居ル、現ニ印度ニ於テ瑞典ノ町ナドデハ非常ナ競争ヲシテ大奮闘ヲシテ居ル有様デアリマス、デスカラ少シデモ値ガ高クナルト云フコトハ燐寸ノ生産力ニ非常ナ關係ガアリマス、御承知ノ通り燐寸ハ毎年一千万圓内外ノ生産輸出デ、昨年ノ如キハ一千万圓以上ニ達シテ居リマス、此燐寸ハ——他ノ原料品ニモ餘程保護モ加ヘテ居リマスガ、斯ウ云フ原料品トシテハ俄ニ之ヲ高クスルヤウナ傾向ヲ持ツデ行クコトハ、燐寸業發達ノタメニ憂フベキコト、考ヘルノデアリマス、是ハ唯一例ヲ舉ゲテ申シタノデアリマスガ、輸出貿易ニ非常ナ關係ノアルト云フコトカラ一言御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○淺羽靖君 尙硫酸「アムモニヤ」ノ状態ハ如何デス、八百萬圓カラノ輸入ヲシテ居リマス

○政府委員(大久保利武君) 硫酸「アムモニヤ」フコトニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、御承知ノ通り重ニ肥料ニ用フル化學製品デアリマシテ、未ダ内地ニ於テハ是等ノ製造ニ從事シテ居ルモノハ先ヅナイト云フデモ宜カラウト思ヒマス、此輸入ノ状況ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト申シマス、年々非常ナ増加ヲシテ居リマス、三十三年ニハ金額ニ於テ二十萬圓、三十七年ニハ百五十一萬圓、四十一年ニハ八百七十九萬圓ト云フ状況デアリマス

○淺羽靖君 内地デハ製造ハ起リマセヌカ

○政府委員(大久保利武君) 内地デハマダ製造ニ從事シテ居ルモノハナイヤウデアリマス、多少少サイ規模デヤツテ居ル處ハアリマスガ、マダ大規模デヤツテ居ッテ輸入ノ防遏ニ努メルト云フ苛性曹達ノ如キ大規模ノ製造ヲシテ居ルモノハナイヤウデアリマス

○小川平吉君 前途ノ御見込ハドウデス

○政府委員(大久保利武君) 前途見込ノナイト云フコトモ言ヘマセヌガ、現在ノトコロデハマダ此工業ニ付テ成功シタ處ハナク、重ニ輸入品ヲ仰イデ居リマス

○早速整爾君 唯今御説明ニナリマシタコトハ誠ニ私共能ク分ツタノデアリマスガ、更ニ御尋ネシテ見タイト思ヒマスノハ、此苛性曹達デアルトカ、炭酸曹達デアルトカ云フ、總テ製造ノ原料ナル重要ナル輸入品ハ丁度今商務局長ノ御述べニナツタ如ク、製品デ以テ外國ト競争シナケレバナラヌト云フ地位ニ立ッテ居ルノデアルカラ、原料ノ輸入税ハ成ルベク率ヲ低クシナケレバナラヌト云フ風ノ御論旨ニ承ツテ居リマス、所ガ丁度唯今ノ御説明ト矛盾シテ居リハセヌカト思ヒマスノハ、改正案ノ税率デハ現行ヨリ高クナツテ居ル、例ヘバ重炭酸曹達ノ如キハ到底内地デ産出スル見込ハナイト思ッテ居リマス、内地デ産出スル見込ハナイモノデ藥用、或ハ工業原料トシテ必要デアルニ拘ラズ、現今一割五分ノモノガ二割ト改正セラレルト云フ案ニナツテ居リマス、是等ハ唯今商務局長ノ御

辯明ニナリマシタコト矛盾シテ居リハセヌカト思ヒマス、尙私ハ苛性曹達ノコトニ付テハ能ク分リマセナンデガ、日本ノ内地ノ生産ト云フモノハ將來見込ガアルカナイカト云フコトヲ確言シテ戴キタイ、農商務省ノ御調ベニモアリマスガ、原料ノ鹽ノ價ノ高イタメニ、苛性曹達ハ到底内地デ安ク便利ニ製造スルコトハムツカシイト云フ見込ハヤウニ何カデ見タコトガアリマス、私共モサウ考ヘテ、此苛性曹達ト云フモノノ内地デ生産スル上ニ付テハ非常ニ困難デアラウト思ッテ居リマス、謂ハバ僅カザ、出來テハ居リマスケレドモ將來ノ御見込ノ立チ難イコトハナカラウカト思ヒマス、其點ニ付テノ御見込ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、尙附加ヘテ今御説明ガアリマシタカラ伺ヒマスガ、硝酸加里——是ハ今度ノ改正案ノ税率デハ二割ト云フコトニナツテ居ル、現行法モ二割デアル、併ナガラ之ニハ協定ガ五分トナツテ居リマス、五分ノ協定税率ヲ二割ニ増加スルト云フコトハ非常ナ増率デアラウト思ヒマス、是モ今ノ商務局長ノ御辯明トハ矛盾シテ居ルヤウニ思フ、斯ウ云フ品物ハ成ルベク安ク原料トシテ輸入シテ而シテ製品トシテハ後ニ外國品ト競争シナケレバナラヌト云フノデアルカラ、成ルベク税率ハ安クアルベキヲ、五分ノ協定税率ガ二割ニ増加スルト云フコトハ、非常ナ増加デアラウト思ヒマスガ如何デゴザイマスガ、ツレカラ立ッタ序ニ簡單ニ御尋シテ置キタイノデアリマスガ、藥材ノ原料ニ付テ先刻小川君ノ御尋ニ對シテ御答ガアリマシタガ、此藥ノ原料ハ成ルベク税率ヲ廉クシテ、サウシテ製品デ以テ支那、朝鮮アタリニ輸出シナケレバナラヌト云フ必要ニナツテ居ルノデアリマスルガ、所ガ此賣藥ノ原料ノ中ニ税率ガ一定シテ居ラヌモノガアル、例ヘバ阿仙藥ナドト云フモノハ多少性質ハ違ヒマスガ、此改正税率デモ五分トナツテ居ル、ツレカラ百四十ノ沒食子五倍子——之ハ無稅ニナツテ居リマス、ツレカラ前ノ甘草、桂皮、大黃ト云フモノハ總テ税率ガ二割ト定メテ居リマス、此中ニハ多少内地デ出來ルモノモアリ、出來ヌモノモアリマスカラ、左様ナ等差ガ付ケラレタノカモ知レマセヌガ、同ジク内地ニ出來ナイモノモ阿仙藥ハ五分デアル、ツレカラ吐根ナドト云フモノハ二割ノ増率ガ課セラレテアル、何レモ賣藥ノ原料ナルモノノドトラモ内地デ産出出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ品物ニ一方ハ五分、一方ハ二割ト云フ率ヲ掛ケテ居ル、税率ノ差ガ非常ニ甚シイ、是等ノ權衡ト云フモノハドウ云フ點カラ見込マレテ斯ウ云フ大變ナ差ヲ付ケラレタノデアルカ分ラナイ、此事モ御説明ヲ願ツテ置キタイ

○政府委員(大久保利武君) 重炭酸曹達ガ一割五分ノ税率カラ二割ニナツタモノハドウ云フ譯カト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、重炭酸曹達ハ御承知ノ通り重ニ醫藥ノ原料ニナツテ居ルノデアリマシテ、他トノ權衡上二割ト云フコトニナツテ居ラウト思ヒマス、私ハ先刻輸出品ノ競争上成ルベク物ニ依ッテハ廉クシテアル趣意ヲ申上ゲテアルノデス、總テ物ガサウ云フ風ニナツテ居ルト云フ意味デヤアリマセヌノデ、中ニハ此硝酸加里、硝石ノ如キハ御承知ノ如ク火藥ノ原料ニナルノデ、各々製品ノ如何又輸出品ノ狀況如何ト云フコトモ顧ミテ税率ノ切盛リヲシテアルノデアリマスカラ、自ラ他ノ鈞合ト云フコトモアリマスルシ、又製品ノ如何ト云フコトモアリマスルノデ、其邊ハ品々ニ依ッテモ違フノデアリマスカラ……

○早速整爾君 硝酸加里ハ……
○政府委員(大久保利武君) 是ハ火藥ノ原料ニナルモノデアツテ、ヤハリ他ノ鈞合カ

ラ申シテ二割ト云フコトニシタノデス……
○早速整爾君 鈞合が取レテ居ナイ……
○委員長(野田卯太郎君) ドウデスカ、モウ時間ガ迫リテ居ルカラ休憩シテ午後ニヤッタラ如何デスカ
(是タケ齊マシタラ何ウデスカト呼フ者アリ)

○委員長(野田卯太郎君) 種々議論モアリマスカラ、午後一時半カラ開會シマス
午後零時二十三分休憩

午後一時三十四分開議

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ速記ガ來ラレタカラ……

○山本悌二郎君 私ハ此第六類ニ於テハ最早質問ヲ致サヌ積リデアリマシタガ、先刻高橋君ノ御尋ニ對スル政府委員ノ答辯ヲ聽キマシテ聊カ分ラヌトコロガ出マシタノ御尋ヲ致シマスガ、此木精トカ或ハ「グロール」酸加里トカ、或ハ龍腦トカ云フ如キモノハ内地ニ於テ產出スルコトノ十分出來ルモノデアラガ故ニ、是ハ相當ノ稅率ヲ制定シテ其產出ヲ促スモノデアルト云フ高橋君ノ御尋ニ對シテ、一ノ政府委員ハソレハ到底發達ノ見込ガ先ヅ無イモノト認メラレラシテ、寧ろ海外ニ仰グ方ガ之ヲ使用スル者ノ方ノ利益ニナルデアラウカラ、無稅ト云フ御説デアリ、又農商務省ノ政府委員ノ御説デハ是ハ外國ヘ輸出スルコトノ品物ヲ製造スル場合ニ使用スル品物デアラガ故ニ、之ヲ高クシテ置クト云フコトハ、即チ輸出貿易ヲ阻礙スル所以デアラカラ、無稅若クハ輕減スルノデアアル、ト斯ウ云フ御答デアッテ、其間ニ首尾一貫シテ居ラヌヤウデゴザイマスガ、併ナガラハハニツナガラ理由ガ含メテ居ルモノト見マシテモ敢テ差支ナイカト、是ハ私ノ方カラ推測スルノデスガ、ソレハサウシテ置キマシテ假ニ此二ツノ原因ノタメニ内國ニ於テ產出ノ出來ルモノデアリナガラ、是ニ向シテ稅率ヲ制定セラレナイト云フコトデアラナラバ、私ハ之ニ付テ御尋ヲ更ニ致シタイ、内地ニ於テ到底大ニ發展スル見込ガナイト斯ウ云フ御説ハ、唯大體ノ認定デハ恐クハアルマイカト思ヒマス、イツレ何等カノ根據ノアルモノデアラウト考ヘマスガ、ソレハドウ云フヤウナ御調査ノ結果、是等ノ品物ハ將來内地ニ於テハ發展スルコトノ出來ナイモノデアルト御覽ニナツタノデアラヤ、之ヲ一ツ御尋ネシタイ、ソレカラ次ニ外國貿易ノタメニ特ニ其原料ノ一部トナルベキトコロノ品物ノ稅ヲ輕クシタノデアルト云フ御説ニ對シテ御尋ネシタイ點ハ、先ヅ一例ヲ舉ゲテ申シマス「グロール」酸加里ノ如キハ燐寸ノ原料トナルモノデアアル、燐寸ハ一千万圓カラノ輸出ノアルモノデアアルカラ、其原料ヲ高クスルコトニナルト燐寸ガ海外ニ於テ競爭スル力ガ弱クナルト云フ御説デアアルガ「グロール」酸加里ガ燐寸ニ用非ラレ、分量ト云フモノガ極メテ少ナイモノ、ヤウニ承知シテ居ル、ソレカラ又此龍腦ノ如キモノ、是ハヤハリ海外ヘ——清韓地方ヘ輸出スル化粧品ノ香料ニ用非ラレモナルガ故ニ、其稅ヲ高クシテハナラヌト云フ御説デアアルガ、是モ開クトコロニ依リマシタル化粧品ニ用ユル香料ト云フモノハ澤山ノ外ノ香料ヲ用非テアル上ニ、僅ニ其一部分トシテ此龍腦ヲ使フモノデアアルサウデス、サウシテ見マシタル此燐寸ニ付テモ、亦化粧品ニ付テモ之ニ向ッテ用ユルトコロノ龍腦ナリ、或ハ「グロール」酸加里ナリノ量ト云フモノハ比較的少ナイモノト考ヘル、デアリマシレバ之ヲ高クスル、廉クスルト

シタトコロガソレヲ以テ造ル品物ニ與ヘル影響ト云フモノハ、ソレハ無論アルデアリマセウ昨日ドナタカノ御説ニ牛ノ皮ニ五分ノ稅ヲ掛ケレバ、ソレガタメニ牛ノ皮段ニ影響スルト云フコトハアルニ違ヒナイ、理論ノ上ニ於テソレダケハ價值段ニ影響ガアルモノトシナケレバナラヌト云フ御説デアッテ成程理論ノ上カラハサウデアアルカモ知レマセヌガ、例ヘハ百圓ノモノニ對シテ五十錢ノ影響ガアルモノト十圓ノ影響ガアルモノト云フ場合ニ、若モ十圓ノ影響ガアルモノトバツレハ大シタ影響ナルカ知ラヌガ、五十錢或ハ五錢位ノ影響ヲ與ヘルト云フコトデアレバ、是ハ理論ニ於テハ影響ガアルニ相違ナイガ、サウ云フ問題ハ殆ド問題ニナラヌ位ノモノデアラウト思ヒマス、要スルニソレハ程度ノ問題デアアル、影響ガ大キケレバ其影響ヲ避ケネバナリマセヌガ、其影響ガ果シテ其種類ニ甚大ノ影響ヲ及ボス程ノモノデアアルヤ否ヤト云フコトニ歸著スルデアラウト思フ、サウ云フコトニナルト「グロール」酸加里ナリ、或ハ龍腦ノ如キモノハ内地ニ於テ相當ノ稅率ヲ制定シテ獎勵スレバ、大ニ發達スベキ見込ガアルト云フコトハ當業者悉ク符節ヲ合ス如ク用非テ居ルトコロノ品物デアアル、果シテサウ云フモノデアルトスレバ、若シ是ガ外國ヘ輸出スルコトコロノ化粧品若クハ燐寸ニ非常ニ具體的ノ影響ヲ及ボスモノトスレバ、格別デアアルケレドモ影響ト云フモノハ程度ニ於テマデモノデアルト云フコトデアアルナラバ、寧ろ稅率ヲ或ル程度マデ高メテ内地ノ生産ヲ獎勵スルト云フコトニシナケレバナラヌト思フ、是ニ於テ私ノ質問スルトコロハ「グロール」酸加里ヲ、現在無稅ニシテアルモノヲ之ヲ假ニ二割ナラバ二割ト云フ稅率ニシマシタナラバ、是ガ燐寸ニ與ヘル影響、幾何ゾ、之ヲ第一ニ御尋ネシタイ、龍腦ガ化粧品ノ價格ニ及ボストコロノ影響ト云フモノハ、是ガ數字ニ於テ凡ソドンナモノデアアルカ、是ハ決シテ算盤ノ出來ヌモノデアハナイ、必ズ出來ベキ基礎ヲ持ッテ居ル、今ノ牛ノ皮ニ五分ノ國定稅率ヲ課スト云フコトニナツタナラバ、牛ノ價ガドレダケソレガタメニ上ルデアラウト云フヤウナ極メテ複雜ノ原因ヲ持ッテ居ルトコロノ問題トハ是ハ別デス、此燐寸ニ對シテ「グロール」酸加里ハドレダケ入レルモノデアアル、又化粧品ニハドレダケ入レルモノデアルト云フコトハ確カニ分ル、其量ガ分レバ即チ其價格ガ分ル管デアアル、要スルニ計數問題ハソコニ至ラナケレバナラヌノデスカラ、私ハソレヲ具體的ニ伺ヒタイ

○政府委員(大久保利武君) 唯今山本君ヨリシテ「グロール」酸加里ト龍腦ノコトニ付テ御尋ネデアリマシタガ、先刻申シマシタ如ク此六類ニ入ッテ居ル製品ノ中ニ於テ、重要輸出品トナツテ居ルモノ又重要輸出品トシテ大ニ發達スベキモノ、原料ニナルモノデアリマスカラ、是等ノ稅率ニ付テハ餘程考慮ヲ要スベキ點デアルト云フコトヲ申述ベテ置イタノデス、所デ「グロール」酸加里ヲ稅ヲ上ゲテ内地ニ之ヲ發達サセルト云フコトニナレバ、ドウ位ノ價格ヲ燐寸ノ價ニ及ボスモノデアアルカト云フ御問ヒデアリマスガ、ソレニ付テ尙今朝申述ベタコトヲ少シ補ッテ置キマシテ、サウシテ御答ニ及バウト思ヒマス燐寸ノ重要物產トシテ年々千万圓内外ノモノヲ生産輸出シ、又之ニ付テハ政府ガ多年直接間接ニ保護助長シ來ツタノ幸ヒ今日ノ狀況ニ達シマシタガ、併シ先刻モ申上ゲタ如ク海外ニ於テハ印度又支那ニ於テ大ニ競爭ノ品物ニナツテ居ッテ、動モスレバ海外先進國カラシテ廉ク生産費ヲ充タシテサウシテ競爭スルト云フコトニナツテ、往々之ニ對シテ逆境ニ陥ルト云フコトガアル、現ニ印度ニ於ケル瑞西トノ競爭、ソレカラ支那ニ於ケル亞米利加トノ競爭、甚ダ激甚ノモノデアリマス、殊ニ此亞米利加アタリノ燐寸業者モ東洋ノ市場

燐寸ヲ獨占スルト云フコトハ多年抱イテ居ルトコロノ希望デアツテ、既ニ我政府ニ向ッテモ或ル一定ノ條件ヲ以テ來テ、政府ノ專賣ニシテ宜カラウカト云フヤウナコトヲ言來リ、ソレカラ政府モ之ニ對シテ政府ノ專賣ト云フコトハ出來ヌガ、當業者ノ合同ヲ試ミテ宜カラウト云フヤウナコトヲ勸誘シタコトモアル、是ハ要スルニ事成ラズニ終ッダが頗ル此海外ノ燐寸業者が東洋市場ヲ獨占シヤウトシテ居ルノデアリマス、此競争ニ付テ最モ各國ノ爭ヒテ居ルトコロハ生産費ノ廉クスルト云フ點ニアツテ、又近來一ノ恐レベキ現象ハ支那ニ於テ大分燐寸ノ工業が起リツ、アル、既ニ數箇所ノ工場ナド著手シテ居ル、廉イ原料ヲ入レテ廉イ貨銀ヲ以テ品物ヲ拵ヘルト云フコトヲ遣リ掛ケテ居ル、又海外燐寸ノ輸出業者ハ生産者ト合同シテ大ニ「トラス」の經營シテ成ルベク廉イ品物ヲ賣ルト云フコトニ汲々トシテ居ル、斯ウ云フ海外ノ狀況デアリマスカラ燐寸ノ原料ガ幾ラカデモ高クナルコトニスレバ、ソレダケ日本ノ燐寸業者ハ影響ヲ蒙ルト云フコトハ言フマデモナイコト、思ヒマス、ソレカラ此「クロール」酸加里ノ會社ノ出來上ッテ居ルト云フコトハ御承知デアリマセウ、併シ是ハマダ出來タバカリデ事業モナシテ居ラヌ、是ガヨシ全部出來上ルト云フコトニシマシテモ、原料ノ三分ノ一シカ供給ガ出來ヌト云フコト、今「クロール」酸加里ガドノ位輸入サレルカト云フト、殆ド少ナイトキハ十萬圓多イトキハ十萬圓以上デアツテ、隨分燐寸ノ原料トシテハ必要ナル原料トシテゴザイマスカラ、此稅率ニシテ少シ内地ノ工業——「クロール」酸加里ノ工業ヲ保護スルト云フコトニナレバ、自ラ上ルト云フ影響ガ生ズルニ違ヒナイ、デ今海外ニ於テハ我燐寸ハ苦戰奮闘デマダナカナカ基礎ハ鞏固ト云ヘヌ、大ニ此燐寸工業ハ御互ニ注意シテ且此保護助成ニ向ッテハ、舊來取來タコロノ保護金ハ繼續シテイカヌトムツカシイ景況デアリマス、デ此「クロール」酸加里ノ會社ガ果シテ能ク成立ッテ内地ノ生産事業ニ供給シ得ル程度ニナッタナラバ、又自ラ考フ要スベキ時機モアラウト思ヒマスガ、今日ノ場合ハ燐寸ノ原料トシテ價ノ上ニ關係スルト云フ憂ノアルモノハ、成ルベク避ケテ燐寸ノ工業ハ獎勵シテ行カケレバナルマイト思ヒマス、此「クロール」酸加里ノ工業ヲ保護スルタメニ稅ヲ上ゲテドノ位ノ影響ヲ燐寸ノ價格ノ上ニ及ボスカラト云フコトハ、確タル數字ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、併シ先刻申上ゲマシタ如ク十萬圓内外ノ「クロール」酸加里ト云フモノガ海外カラ輸入シテ居ルノデアリマスカラ、之ガ五分ナリ一割ナリ上レバソレダケノ價格ハドウシテモ上ルト云フ傾向ハアルニ違ヒナカラウト思ヒマス、ドノ位ノ影響ガアルカト云フコトハ尙能ク調ベテ見ルコトニ致シマセウ

○山本悌二郎君 ソレカラモウ一ツ櫻井サンニ御尋ネ致シマシタ、ツマリ「クロール」酸龍腦ハ將來ニ餘リ發達ノ見込ハナイト云フノデスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 私ノ答ト農商務省側ノ委員トノ答ガ一致シナイト云フ御問ノヤウデゴザイマシタガ、サウデスカ

○山本悌二郎君 ツレハ一致シテ居ラヌデモ宜イ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 強チ矛盾ハシテ居ラヌト思ヒマス、輸出ノ品ノ原料ニ使フモノガ吾々ノ考デハ内地デマダ是等ノ品目ハデス、即チ藥品ノ如キハ無論絶對的ニ出來ナイモノデハナイト思フ、造レバ出來ルモノデアル、ソレ程日本ノ化學上ノ知識ハ幼稚デハナイノデゴザイマス、ケレドモ唯私ノ言フノハ工業的ニ廉キ品質ノ良イ物ヲ造ルコト

ハナカ／＼マダ出來テ居ラヌト云フコトヲ申スノデアリマス、ソレ故ニサウカト言ヘバ政府ノ原案ハ出來ナイモノデカラマルデ見棄テ、シマツテ、凡テ外國品ヲ仰グカト云フトサウデナイカラ、茲ニ一割乃至二割ノ稅率ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、品物ニ依ッテハ二割位ノ稅ヲ掛ケテアル、殆ド彼等ノ造ル位ノ品物ハ内地デ出來ルダラウト思フ、決シテ全ク見棄テタト云フコトハ無論ナイノデゴザイマス、矛盾デハナイト思ヒマス

○山本悌二郎君 ソレハ續イテ御尋ネ致シマスガ、此「クロール」酸ノ如キモノニ關稅率ヲ高クスルト、燐寸ノ海外ニ於ケルトコロノ競争ニ大ニ困難ヲスルコトニナルト云フ御話ニ對シテ、私ハ更ニ御尋ネスルノデスカ、聞クトコロニ依レバ「クロール」酸ナドト同ジク内地カラ取ルトコロノ沃度、是ナドハ外國ニ大キナ「シンデゲート」ガアツテ、ソレガ始終日本ノ沃度事業ヲ壓迫シテ居リ、此方ガ價值ヲ引下ゲレバ先方ハソレ以上ノ極度マデ引下ゲラシテ、此方ノ產出ガ減少スルト云フコトニナルト、又ソロ／＼價值ヲ引上ゲルト云フヤリ方ヲスル、其タメニ日本ノ沃度業ハ發達セヌノデアルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル「クロール」酸モヤハリ是ト同ジコトニナリテ居ルト私ハ信ズルノデス、即チ沃度ハ幸ニシテ今回ノ稅率ニ外國品ハ三割ノ稅ヲ課スルコトニナリマシタカラ之ニ依ッテ助カルト思ヒマスガ「クロール」酸ハ今度ハ從前一割ノモノヲ、更ニ今度ハ無稅ニスルト云フコトニナリマスカラシテ、彼等ハ今マデノ輸入ヨリ多クスルト思ヒマスカラ、内地ノ製造ハ此課稅ヲ實行スルニ於テハ業ヲ廢セナケレバナラヌト云フコトヲ心配スルノデス、斯ウナルト即チ海外ノ「シンデゲート」ハ益々其威力ヲ逞ウシテ、日本ノ此事業ヲ獨占スルヤウニナリ、其威力ヲ逞クシテ、今度ハ自分ノ勝手ニ其價值ヲ上下ゲラヌコトニナル、斯クナリマシタナラバ其結果燐寸業ニモ影響ヲ及ボスデアラウト云フコトハ今カラ考ヘナケレバナラヌ、日本デ是等ノ品ガ出來レバコソ彼等ハ日本ノ事業ヲ獨占スルコトモ出來ズ、從ッテ價值ヲ極端ニ引上ゲルト云フコトヲシテ、暴利ヲ貪ルト云フコトモアリマセヌガ、是ガ日本ノ此事業ガ全滅シテ彼等ノ獨占ト云フ曉ニナレバ、無論彼等ニ依ッテ價值ハ一高一低スルトコロナルコト、思ハナケレバナラヌ、斯クナツタ以上ハ我國ノ燐寸事業ノ被ル打擊ハ、今日ノ僅カノ稅率ヲ增加シテ、サウシテ内地ノ製造ヲ保護スルト云フヤウナモノデハ防ゲナイノデアリマス、ソレ以上ノ苦痛ヲ嘗メナケレバナラヌト云フ時代ガ來ルト思ヒマス、是ハ政府者トシテハ大ニ考ヘテ戴キタイトコロト思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ此海外カラ輸入スルトコロ「クロール」酸ガ日本ノ「クロール」酸製造ヲ全滅シタ曉ニ於テハ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトノ御意見ヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ此龍腦ニ付キマシテモモヤハリ獨逸カラシテ輸入シテ來テ居ルトコロノ龍腦ト云フモノハ、人造樟腦ノツマリ前身デアルサウデス、サウ致シマスレバ元來人造樟腦ハ日本ノ樟腦ノ勁敵デ、樟腦專賣ニ損害ヲ與ヘテ居ル商賣敵デアル、其商賣敵デアルトコロノ人造樟腦ヲ製造スル者ガ、是ガ同時ニ日本ニ入ルカラモ龍腦ニ影響スルト云フコトニナルノデアル、少シバカリ保護シテ之ニ手加減ヲ加ヘレバ、龍腦ト云フモノハ日本デ出來ルト云フコトデアラナラバ、之ヲ保護シテ國產ヲ發達セシメ、同時ニ一方ノ樟腦ノ勁敵タル人造ノ樟腦ト云フモノ、競争ヲ薄クスル所以デナイト思フノデスカ、此邊ニ付テ政府ノ見ルトコロヲ伺ヒタイノデスカ

○高橋光威君 今ノ山本君ノ御質問ニ關關シテ私モ一ツ御聞キシタイノデスカ、此「クロール」酸ト云フモノハ八十萬圓乃至百萬圓ト云フコトデ、私共ノ考ヘデハモウ少シ多イ

ヤウデアリマスガ、先刻ノ御答辯デハ八十萬圓乃至百萬圓ト云フコトデアリマシタ、ソレカラ此値段ノ高低ガアル、例ヘバ十六錢位カラ二十四錢位マデ高低スル、ソレハ何ノタメニ高低スルカト云フニ、要スルニ「クローム」酸ト云フモノハ「トラス」ト「專賣品」日本ニ輸入スルノハ其「トラス」ガ勝手ニ市場ヲ左右スルノデアアル、デアアルカラ從テ少シ減少スルトスレバ直ニ値段ヲ高クスル、又少シ高クシテ都合ノ惡イトキハ價值段ヲ廉クスル、又他ノ方面デ「トラス」外ヨリ多少其品物ヲ輸入スルトキニハ非常ニ廉クスル、其輸入ガ無クナレバ又非常ニ高クスル、其「トラス」ガ市場ヲ左右シテ居ル、デアアルカラ今此處ニ相當ノ日本ノ生産ノ此化學的製品ニ保護ヲ加ヘテ見タコロデ、ソレハ却テ「トラス」ト「橫暴」防グノ効能ト云フモノハ殆ドナイデアッデ、其隣寸原料ハ高クスル憂ハナイモノト私共ハ記憶シテ居リマス、私モ勿論此營業者デハナシ、實ハ政府委員ト共ニ斯ルコトニ付テハ同様新シキ知識デアリマス、誠ニ初心デアリマス、最モ政府委員ト雖モ初心デアラウト思フデアリマスガ、深ク立入ッテ其「トラス」ガ其市場ヲ左右スルノ弊ハナカ／＼此多少ノ保護ヲ加ヘテモ、決シテ「トラス」ト「橫暴」防グ効能アルト云フ程ノ利益ガアルカ隣寸原料ノ價ヲ高クスル憂ハ比較ノ少ナイモノデアラウト私ハ思フデアリマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマスガ、其邊ヲチヨット山本君ニ付加ヘテ伺ヒマス

○鷺田十三郎君 内地ニ於キマシテハ「クローム」酸ノ製造ハ先般大阪デヤッテ失敗ニ終リマシタガ、近來工業會社ガ水力電氣ヲ利用シテ著手スルコトカ云フコトデアリマス、果シテ今日多少ニ拘ラズ製品ガ出來テ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ、モウ一ツハ「クローム」酸加里ヲ造ル原料ハ「クローム」加里ガ必要デアリマスガ、然ルニ此「クローム」加里ト云フモノハ日本デハ漸ク沃度ヲ製造スル際ニ出來ルノミデアッデ、ソレヲ内地ヲ數百萬斤モ製造スルト云フ譯ニハ往キマセヌ、是非トモ外國カラ取寄セナケレバナラヌ、所デ此「クローム」酸加里ヲ發達セシメヤウト思ヘバ原料ハ外國カラ、入ルノデアアルカラ無稅入レテモ宜イデアリマセウニ、別號ニ於テ二割ノ課稅ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、總テ「クローム」酸加里ヲ今迄ノヤウデハイケナイカラ將來發達サセルト云フ見込ガアルナラバ、此原料ナル「クローム」加里ニ向ッテハ無稅ト云フ一目ガアッデ宜カラウト考ヘマスガ、如何デアリマセウカ

○石橋爲之助君 二〇九號ノ鹽酸「キニーネ」及硫酸「キニーネ」是ガ每百斤百二十五圓トナッテ居リマスガ、此二者ヲ同一價格ニ看做シタ理由ハ如何デアアルカ鹽酸「キニーネ」ハ百斤ニ付キ今日ノ相場ガ一千六十圓、硫酸「キニーネ」ハ百斤ハ六百四十圓デ先ヅ十ト六トノ比例ニナッテ居ル、其價格ノ違フモノヲ同シク六百十五圓ト云フコトニシタ理由ハドウ云フ譯デアリマスガ、殊ニ硫酸「キニーネ」ヲ以テ鹽酸「キニーネ」ヲ製スルコトガ出來ルノデソレヲ現ニヤッテ居ルヤウデアリマス、若シ同率ヲ課スト云フコトニナルト、ツマリ負擔ハ硫酸「キニーネ」ヲ方ニ餘計負擔サセマスカラ其製造事業ハ自然衰頹ニナルモノデアリマス、ドウ云フモノデ此値段ノ違フモノヲ同率ニ定メタノデアリマスガ

○委員長(野田卯太郎君) 政府委員ニ申シ置キマスガ、今ノ山本君、高橋君、鷺田君ノ質問ノコトハ明日デモ御答ヘニナルヤウニ、是ギリ抛ッテ置ク譯ニモ往キマスマイ
○政府委員(大久保利武君) ソレデハ茲御答致シマス「クローム」酸加里カ「トラス」ト「出來テ共」トラス「ト」力ヲ以テ價格ヲ左右スルカラ、却テ工業ニ影響ヲ及ボサウト

云フ御尋ネデアリマシタガ、此「クローム」酸加里ノ「トラス」ト「コト」ハ事實デアッデ、世界ノ市場ニ於テ價格ヲ左右スルコト云フコトモ事實デアラウト思ヒマスガ、是等ノモノニ對シテ稅ヲ上ゲテ、サウシテ此頭ノ上ニ於テ——關稅ノ上デ手加減ト云フコトハ内地ニソレダケノ生産ガナイ以上ハムヅカシカラウト思ヒマス、デア内地ニ於テ此「クローム」酸加里ノ製造ガ發達シタ曉ニハ宜イガ、今稅ヲ上ゲルト云ツタラ一層發達ヲ阻得スルデアラウト思ヒマス、ソレカラ先程鷺田君カラ「クローム」酸加里ノ製造ガアルカナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、先年大阪ニ於テ此工業ヲ試ミタコトガアリマス、併シ失敗ニ歸シテ今日デハ先ヅ製造所ハ日本ニ於テ無イト斯ウ御答シテ置キマス、此「クローム」酸加里ニ付テハ農商務省ニ於テモ斯業ノ發達ニ付テ年來種々ノ方法ヲ以テ獎勵シテ居リマス、「グルー」ム「酸加里」ハ御承知ノ通電氣化學ノ事業デアッデ、是ハ先年沃度會社ニ試驗ヲ囑託シテ成績ヲ見タコトガアリマス、其成績ニ依レバ出來ルコトハ出來ルカ、果シテ此經濟上引合ッテ往クヤドウカト云フコトハ疑問デアアル、動力ノ關係ナダガアリ、モウ少シ講究シナイト果シテ十分發達シ得ルカドウカハ將來ノ研究問題ニ屬シマス、政府ニ於テモ是等ノコトハ成ルベク發達シテ内地ノ工業ガ出來ルヤウナコトニ無論力メル積リデアリマスガ、今ノトコロデハナイノデアリマス、是ヨリ追々研究ヲ積ミ、調査ヲ重ネテ愈々出來ルト云フコトデアッタラ、ソレハ其時ニ於テ自ラ考ヘテ運ラズベキ時機ニ到著ヤウト思ヒマス、今ノトコロデハ全ク製造ハ日本ニ於テハナイト云フ狀況デ、而モ全部外國カラシテ少ナイトキハ八十萬多イトキハ百萬以上——是ハ間違ヒアリマセヌ、輸入シテ居ッテ隣寸ノ原料トシテハ餘程重要ナモノデアリマス、ソレダケノコトヲ御答致シマス

○高橋光威君 ソレナラバ從來一割デアッテ今度無稅ニナルト云フノデスカ、百萬圓カソコロノ資本金デ福島地ノ猪苗代ニ於テ會社ガ出來テ居ル、其機械モ百萬圓ノ會社ニ對シテ機械ハ二十萬圓カ二十萬圓ト云フ高イモノダサウデアリマス、其機械モ輸入サレテ十分ナル成績ヲ以テ着々進行シテ居ル、ソレモ此現在ノ一割ト云フ輸入稅ガアルカラシテ算盤ヲ執ッテ既ニ機械ニデモ輸入シテ居ルノデ、是カラ益ヤラウト云フ矢先ニ當ツテ是ガ、無稅ニナルト云フノデアリマス、サナキダニ工業ガ外國ノ製產品ノタメニ壓迫ヲ受ケテ居ル場合ニ、更ニ無稅ニシタナラバ折角起リ掛ッタ工業、是レカラ生レ出ヤウト云フヤウナ工業モ聞カラ聞ヘ葬ムルヤウナ結果ニナルダラウト思ヒマス、絶對的ニ出來ナイト云フモノデハナク、既ニ機械マデモ輸入シテ成績ガ良好デアッテ今ハ「トラス」ト「タメ」ニ、時ニハ非常ニ價格ヲ高メ時ニハ非常ニ價格ヲ下ゲル際デアルト云フモノ、茲ニ折角起リ掛ッタ事業ヲ聞カラ聞ヘ葬ムルト云フヤウナ、斯ル關稅率ト云フモノハ將來幼稚ナル工業ヲ保護スル所以デアリマセズ、此原料デアアルモノヲ徒ニ「トラス」ト「蹂躪」ニ任スト云フコトハ面白クナイノデアリマス、サウ云フ工業ガ起リ掛ッテ居ルニモ拘ハラズ、現在ノ協定稅率一割ト云フモノマデモ撤廢シテ無稅ニスルト云フコトニナリマス、他ニモ澤山例ガアリマス、假令原料品デアラウガ、其邊ハ餘程將來工業ノ發達ノタメニ當局者ハ御注意然ルベキコト、思フノデアリマスガ、ソレヲ現在ヨリモモット低クシテ無稅ニシテシマフト云フヤウナコトハ、如何ナ御考デアリマスガ、現在ニ於テ出來テ居リマセヌケレドモ此前ニモ、心掛ケテ失敗シテ更ニ再舉ヲ企テ、出來ルヤウナコトニナッテ居ル、ソレデモ壓迫サレルノハ

甚だ國產ノタメニイカスト思ヒマスガ、政府ノ御考ハ如何デアリマスカ序ナガラ御尋ラシテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) 石橋君ノ方カラ先キニ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 石橋君御尋ニ御答ヲ致シマス、鹽酸「キニーネ」ト硫酸「キニーネ」ノ平均價格デアリマスガ、統計ノ調査ニ依リマスルト三十七年ハ鹽酸「キニーネ」ハ平均價格ガ一斤十二圓五十五錢、硫酸「キニーネ」ガ九圓三十三錢、三十八年ニハ鹽酸「キニーネ」ノ方ガ十一圓七十八錢、硫酸「キニーネ」ノ方ガ八圓五十二錢、三十九年ニハ入ッテ居リマセヌ、斯ウ云フヤウナ十二圓ト九圓、十一圓ト八圓ト云フ位ノ開キデアリマスカラ、ソコデ多少ノ開キハアリマスケレドモ、一緒ニ致シマシテ一律ニ課稅スル、斯ウ云フコトニ致シマシタデアリマス

○石橋爲之助君 相場ノ比較對照ヲ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレカラ今「クロー」酸加里ノ有稅無稅ノ御尋ネガアリマシタガ、是ハ三十二年ノ八月十五日カラ無稅ニナッテ居リマス、黃磷、赤磷ト云フ燐寸ノ原料ガ無稅ニナッテ居リマス、ソレト同時ニ「クロー」酸加里、是ガ無稅ニナッテ今日迄續イテ居リマス、協定ハ一割トアリマスガ、三十二年ノ協定デアリマスガ八月ニ無稅ニナッテ居ル、今日ニ續イテ居リマスカラ此改正ニ依ッテ有稅ノモノヲ無稅ニシタノデアリマセヌ、其事ヲ申シテ置キマス

○淺羽靖君 尙伺ヒマスガ、麥酒資料「ホップ」ニ付キマシテ午前築山君ガ御尋ネニナリマシタガ、當時政府委員ノ答ハ見込ガナイト云フ農商務省ノ意見ダカラ、無稅ニシタト云フ御答デゴザイマシタガ、是ハ實ハ或ル地方デハ熱心ニヤリツ、アッテ、望ミガアルノデゴザイマス、サウ云フヤウニ本員ハ認メテ居ル、殊ニ此資料ハ是迄通り二割掛ケテアルモノガ、今日無稅ニスルト云フコトハ僅ニ兩三年前ニ必要ナリトシテ一割ヲ課シテアルモノガ、一年ヤ二年ノ間ニ成績ガ舉ルトカ舉ラヌトカ云フヤウナ考ヲ輕々ニ極メテハ極端カラ極端ニ無稅ニナルト云フコトハ、ドウモ農商務省ノ御意見トシテハ穩當デアリマイト本員ハ信ジマス、昨日マデ溫メテ置イテ、人民ハ其方針デヤッテ居ル、今日ハ直グニ之ヲ冷シテ無稅ニシテ自然ニ倒レルノヲ俟ツノハ農商務省ノ御政策ノ結果、僅カ一兩年ノ中ニ新規ニ起ルベキ事業ニ向ッテ之ヲ倒スモノデアリマイト思ヒマス、是ハ一應農商務省ノ委員ヨリ其邊ヲ明カニシテ戴キタイノデアリマス、第二ニハ酒精ノコトデゴザイマス、今日ノ此酒精ニ付テノ關稅率ハ先年大ニ攻究ラシテ漸クコ、マデ來タノデ、當業者ハ其堵ニ安シテ居リマスガ、然ルニ臺灣ノ方ヨリ輸入スルトコロノ酒精ニ付テハ非常ナ打撃ヲ被ッテ居ルヤウニ聞キ得ラレルノデゴザイマス、是ハドウニカ抵觸シナイヤウニナッタヤウニ思ヒマスガ、少シ記憶ニ存シテ居リマセヌデ、コ、ヲ明カニ御尋ネラシテ置キタイト思ヒマス、若シ本員ガ伺ヒマス如ク關稅ニ於テハ適當ニナッテ居ルガ、臺灣ノ方ニ於テ權衡ヲ得ズ、臺灣ニ輕クシテ内地ニ重イトスレバ、一方ヲ助ケテ一方ヲ倒スト云フ結果ニナラウト思ヒマス、此二點ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(下岡忠治君) 「ホップ」ヲ點ニ付テ御答ヲ致シマス、「ホップ」ハ成程御話ノ通りニ北海道ナリ、或ハ長野縣アタリノ方面ニ於テ多少出來テモ居ルシ、又イロノノ之ヲ造ラウト云フコトニ苦心シテ居ルモノ、アルコトヲ聞イテ居リマスケレドモ、是迄ノ成

蹟ニ依ッテ見ルト、第一句ヒガ一向海外カラ入ッテ來ルモノニ敵スルコトガ出來ズ、又粉ガ出來ナイ、從ッテ現在ノ狀態デハ他カラ入ッテ來ルモノニ競爭スルコトガ出來ヌト云フコトハ、唯今ノトコロデハ考ヘテ居リマスガ若シ將來之ヲヤルトシテハ所謂農經營ノ上カラ云フト、眞イ作物デアリマスカラ何トカシテヤリタイト云フ考ヲ有ッテ居リマスケレドモ、現在ノトコロハサウ云フ狀態デゴザイマシテ、ソレデヤ何ゼ前ニハ二割ニシテ今直ニ無稅ニスルト云フ風ニ、前後矛盾スルコトヲヤルカト云フ御尋ネデアリマスガ、實ハ前ハ二割ニシタ時分ニハ其中ニハ適當ナモノガ出來ルデアラウト云フ見込ヲ付ケテ居ル、所ガナカノ、斯ウ云フモノハ二年三年、或ハ五年ノ間ニ海外ノモノニ匹敵スルモノヲ造ルト云フ時期ニ至ラヌモノデスカラ、然ラバ今日ノトコロデハ麥酒ノ第一ノ原料ニナルモノデカラ、之ヲ無稅ニシテ置イテ尙十分技術上ナリ、其他ノ點カラ研究シテ相當ニ出來ルモノガ出來テクル曉ニ於テ、相當ニ其時考ヘテヤラウト云フノデ已マラ得ズ之ヲ無稅ニスルコトニナッタノデゴザイマス、ドウカサウ御承知ヲ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 「アルコール」ヲコトヲ申シマス「アルコール」ハ稅ノ上デハ今日デハ臺灣ノ内地ト權衡ヲ取ッテ居リマス、唯權衡ヲ得ナイ點ハ内地ノ「アルコール」ノ稅ハ製造シマス、翌月稅ヲ取ッテシマフ、臺灣ノ方デハ稅金ヲ三箇月ト思ヒマスガ、猶豫スルト云フ臺灣ノ法律ガ出來テ居ルノデアリマス、ソコデ一方ハ直ニ稅金ヲ取ラレ、臺灣ノ方ハ稅金ヲ猶豫ガアル點ガ内地ノ同シ酒精ノ製造者トノ間ニ權衡ヲ得テ居ラヌト云フコトガ分ッテ來マシテ、是ハ既ニ權衡ヲ得ルヤウニ御決議ニナッタ法律案デアルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○驚田土三郎君 一二三「サッカリン」デゴザイマスガ、此「サッカリン」ハ明治三十九年ニ一年六十圓ト云フ大々的禁止稅ヲ課セラレマシタノデ、其方ハ外國貿易ヲ相手ニシテモ殆ど輸入シテ居ラヌ位デゴザイマス、然ルニ民間ノ有様ヲ見マス、「サッカリン」ハ今日如何ナル山間僻地マデモ及ンデ居ッテ、菓子トカ團子トカ牡丹餅ナドニ皆使用サレマス、近イ例ハ日本醬油會社モ即チ醬油ノ中ニ入レテ一大問題ニナッタコトガゴザイマス、アノ通り民間盛ニ用非ラレテ居ル、シテ見レバ明治三十九年二十四萬斤入ッテ來タガ、其後更ニ入ッテ來ナイ、民間ノ價ハ一斤ガ漸ク四圓デ需用セラレ、ノハ如何ナル譯デアリマスガ、密輸入セラレ、ノデアリマスガ、又ハ他ノ藥品デアッテ甘味デハナイガ、或ル品物が從價ニ一割ト云フヤウナ廉價關稅ヲ這入ッテ來テ、ソレヲ日本デ「サッカリン」ニ精製スルノデアリカ、即チ「スルフォアミン」、ベンツォイル「酸鹽」ト云フヤウナモノガ稅關ノ目ヲ濫ッテ入ルノデアリマセヌカ、其邊ノ御調ガアレバ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 「サッカリン」ノ御尋ネデアリマスガ「サッカリン」ノ一斤六十圓ニナリマシタノハ、明治三十九年ノ關稅率改正ノ際デアリマシタ、是ハ砂糖ノ稅ヲ保護スルト云フ趣意カラ此高イ稅ヲ課シタ次第デアリマス、所ガ一斤六十圓ノ稅ヲ賦課シタ「サッカリン」ハ、ナカノ、高クナケレバナラヌ、ソレガ往々廉價民間賣ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマシテ、密輸入云々ト云フ點ニモ大ニ注意ヲ致シマシタガ、丁度「サッカリン」ガ三十九年ニ稅ガ高クナルト云フ間際ニ、三年カ四年分ニ當ル分ヲ見越輸入ヲヤッテシマッタ形跡ガアル、所謂六箇月ノ期間ニ——ソレガマダ殘ッテ居ル、サウシテ民間割合ニ廉價賣ッテ居ルヤウニ思フ、密輸入ト云フ點ハ大阪地方ニ於テ二三密

輸入ノ檢査ヲシタコトガアリマス、税關ニ於キマシテ、併シ今日廉ク賣ッテ居ルノハ二
十九年増税ノ間際ニ三四年分ヲ輸入シタ統計ガ現ハレテ居リマス、其分ガ今ニ殘ッテ
居ルノデアラウト思フ、ソレカラ「サツカリン」ヲ造ル原料トナルヤウナモノヲ輸入シテ「サツ
カリン」ヲ造レバ何ニモナラヌト云フ御説モアリマスガ、ソレハ一時大阪方面ニ於テ「サツ
カリン」ヲ製造スルコト云フ噂ヲ聞キマシテ、餘程調ベマシタガ未ダ「サツカリン」ヲ製造ス
ルト云フ程ニナツテ居ラヌト云フコトガ分ッタルデアリマス、ソレハ昨年頃ノ話デアリマスケレ
ドモ、調査致シマシタガ「サツカリン」ヲ製造スルマデニナツテ居ラヌト云フコトヲ認メマシ
タ次第デアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 第六ハ濟マシマセウ 第七類

○大久保弁太郎君 私ハ此第七類ノ二百二十六、二百二十七藍ノ件ニ付キマシテ
政府委員ノ説明ヲ煩ハシタイノデアリマス、其要點ハ此内地藍ハ最早將來望ガナイモノデ
全滅シテモ宜シイト云フ御認メデゴザリマセウカ、又ハ將來維持ヲシテ發達増進ガ出來
ルモノナレバサセル見込ガゴザリマスガ、此點ヲ承リタイ、私ノ考ヘテ居リマスコロヲ單簡
ニ申上ゲマスレバ、政府ハ此内地ノ生産物ハ成ルベク保護ヲ加ヘテ關稅稅率ヲ定メラレ
タヤウニ見受ケラレマス、又去ヌル三十九年ニ定メラレタコロノ國定條約ハ容易ニ動カ
サヌモノデアルト云フコトモ承知致シテ居リマス、又我内地ノ藍ハ諸君モ御承知ノ通り本
色ノ美ニシテ堅牢ナルコトハ一般ノ人ノ認ムルコロデゴザリマス、又外藍即チ外國ヨリ
輸入スルトコロノ人造藍ハ、染附モ甚ダ薄弱デ脱色モ早ウゴザリマシテ、誠ニ實用ニ
適シナイノデアリマス、併ナガラ其價ノ廉ナルコロヲ以テ近來多額ニ輸入ヲ致スノデゴザ
イマス、之ニ唯今一割ノ原案ヲ實行シマスルコトニナルト、價ノ比較上日本藍ハ全滅ヲ
シテシマウト云フコトニナルノデゴザリマス、吾々ハ即チ現行法ノ三割ガ實施セラレルト云
フコトナレバ、又外藍モ防ギ得ラレテ日本藍モ多少發達スルノデアラウカト見込デ居リマ
スニ拘ラズ、政府ガ原案ヲ提出シタノデ非常ニ憂ヘテ居ルノデゴザリマス、最前申上ゲタ
點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○川眞田德三郎君 今ト同一ノ質問デアリマスカラ一遍ニ問フ方ガ宜イト思ヒマス、
此二百二十七人造藍、此案ハ今大久保君ノ述ベラレマシタ如クニ、三十九年ノ議會
ニ於テ政府ノ提出案ガ二割デアツテ、衆議院及貴族院兩院ノ協議會ヲ經テ修正シタ
ノガ二割デアツタノデアル、ソレガ現行法ニナツテ居リマスルガ、此方面ハ未ダ協定稅率ノ
期間ガ滿了シマセヌ故ニ、前ニ締結致シタ儘デ實行シテ居ルノデアリマス、所ガ今同政
府ノ提出シタル案ハ、政府トシテ先キニ提出シタコロノ二割ノ主義ヲ變ヘ、又貴衆兩
院ノ協議會ヲ經テ決定シタモノヲ無視シテ一割ニ變ヘタルハ著シキ根據ガナクテハ變
ヘル筈ガナイト思フ、而シテ此政府ガ提出シタコロノモノヲ見マスルト、人造藍ト云フ
如キハ三箇年間ニ却テ輸入ガ減少シテ居ル統計ニナツテ居ルノデアリマス、サレバ日本ノ
藍ヲ犧牲ニシテ人造藍ノ輸入ノ増加ヲ圖ルト云フ政策ト外私ハ認ムルコトハ出來ナイ、
デアリマス故ニ此主義ノ上而カモ兩院協議會デ決定シタモノマデモ無視シテ變更シタト
云フ所以ハ、今少シ明カニ承リタイト存ジマス、第二ニ近頃硫化染料ガ世ノ中ニ段々
行ハレテ參リマシテ、今日日本ノ需用ノ有様ヲ見マスルト云フト硫化染料ト人造藍ト日
本ノ藍ト此三ツノモノガ、殆ト鼎立シテ市場ニ競争ヲナシツ、アル現況デアリマス、多ク

ノ中等以下ノ織物ハ硫化染料ヲ用井テ居ルト云フコトハ前ニ當局ノ方々ニ於テモ御承
知ノコト、思ヒマス、是ハ自然ノ勢デ即チ第二百二十六、二百二十七人造藍、今日ヨリ十
年前ニ於テハ三百萬圓ニ垂ントシタルモノガ、現在ニ於テハ十八萬圓前後ニ減少シタノ
デアリマス、人造藍ト天然藍トノ競争ノ結果、人造藍ノタメニ是ダケ減殺致シタモノデ
アリマス、今ヤ人造藍ト硫化染料トハ市場ニ於テ競争ノタメ、硫化染料ノ方ガ比較
的廉イガタメニ、人造藍ハ近頃輸入ヲ減少シテ居ルト云フコトニ事實ナツテ居リマス、所
ガ今回ノ案ハ日本ノ藍ヲ犧牲ニ供シテ人造藍ノ隆盛ヲ助長スルト云フヨリ外判斷スル
餘地ガナイノデアリマス、此硫化ニ對スル政府ノ將來ノ御見込等ヲ私ハ承リタイ、第三
ニハ價格二百二十圓即チ其一割ハ二十二圓デアリマス、現在ノ市場ノ價額ハ二
百六十六圓餘ニナツテ居リマス、是ハ東京ニ於ケルモ、大阪ニ於ケルモ、同ジコトデアリマ
シテ、此二百二十圓ト云フノハドウ云フヤウナコロノ調ベカラ出タルデアリマスガ、此出
所ヲ明カニ承リタイ、ソレカラ若シ茲ニ紺織物ガ追々輸出品ニナツテ來ルガタメニ特別ノ
工業者ヲ保護シナケレバナラヌト云フ政府ノ御見込ハドウデアルカ、紺織物ハ何レノ方面
ニ輸出シテ、何レノ方面ノ人種ガ之ヲ著用スルマデニ進シテ居リマスガ、私ノ承知シテ居
ルトコロデハ支那、朝鮮、即チ日本人ガ居住シテ居ル方面デ日本人ガ用井ル品物ハイッ
テラカ出テ居ルモノガアリマスガ、此支那、朝鮮以外ニ於テ紺織物ヲ用井テ居ル方面
ガアルト云フコトヲ承リマセウガ、政府ノ御調ベハ如何ニナツテ居リマスガ、其次ニハ政府
ハ既ニ日本藍ヲ犧牲ニシテ、而シテ此場合ニ於テ保護セント云フノハ何ウ云フ意味デア
リマスガ、日本總テノ藍ノ利益ト云フモノハ皆地價ニ含有シテ居ルンデアリマス、此保護
ヲシナイト云フ覺悟ヲスルト同時ニ、藍ノ收益ヲ含蓄シテ居ル方面ニ向シテ、地價修正
ヲスルト云フ覺悟ガアルヤ否ヤ、是等ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今藍ニ付テ大久保君、川眞田君カラ御尋ガアリマシ
タガ、ソレニ御答ヘスル前ニカッテ、第七類ノ染料ト云フコトノ稅率ヲ定メテ趣意ヲ簡單ニ
申上ゲヤウト思ヒマス、第七類ノ先ツ此染料ニ付テ申シマス、染料ハ概シテ一割乃至
一割五分特別ノ理由アルモノ、外ハ此位ノ程度ニ定メマシタ、此一割乃至一割五分
ト云フ程度ニ定メマシタノハ、一方ノ織物ノ方、即チ第九類ノ織物トノ稅率ノ權衡ヲ
見テ居ルノデアリマス、織物ノ稅率ニ付テハ、大體先ツ普通ノ織物ニ付テハ二割ノ稅率
ヲ取ツテ居リマスガ、ソレノ權衡ヲ見テ、先ツ染料ノ如キモノハ、織物ノ染料ニ要スルトコ
ロノモノデアルカラシテ、ソレヨリ低イ稅率ヲ定メルノガ適當デアラウ、斯ヤウナ考デアリ
マス、此事ハ天然藍並ニ人造藍ニ關シマセウ、他ノ染料ニ付テモ同様デアリマス、ソコデ
藍ニ付テハ三十九年ノ當時ニ於テハ三割ノ稅率ヲ定メテ置キナガラ、今俄ニ一割ヲ減
ズルト云フノハ内地ノ藍ノ耕作ヲ眼中ニ見ナイノデアルカト云フ御質問デアリマスガ、此藍
ノ内地ニ於ケル生産ハ統計上ニ依ツテ見マスレバ、御説ノ通りニ作付ノ反別ト云フモノニ
於テハ茲十年間ハ大變ニ減ツテ居リマス、併シ割合ニ此收穫ハ一反當リヲ見レバ
收穫ヲ増シテ居ルト云フコトハ統計上ニ見エテ居リマス、内地ニ於テハ藍ノ作付反別ニ
減ジタト云フコトハ、是ハ外國ヨリ入リマスコロノ人造藍ニ大ナル影響ノ原因ガアルト云
フコトハ私モ左様ニ考ヘテ居リマス、併シ此天然藍ト云フモノハ唯今モ御説ガアリマス通
リ、同ジ藍ノ色ヲ出スニモ一種特有ノ色ヲ持ッテ居ル、艶ヲ持ッテ居ルト云フコトデ、ドウ

○川眞田徳三郎君　只今ノ御答ハ漠然トシタ御答デ、三十九年以來大變動ヲ來シタモノ、如クニ御話ガアリマシタガ、實際日本ノ商業ニ變動ヲ來シテ居ルコトハ認メルコトハ出來ナイノデアル、人造藍ハ四十年デヨリ四十一年度ノ方ガ四十一萬圓モ減ツテ居ルノデアル、成程ソレハ硫化ガ段々世ニ行ハレテ來タ影響モアリマセウガ、大體ノ數ニ及ボス程ノ影響トハ認メテ居リマセヌ、政府ハ産業發達ノ上ニ於テ農工業ヲハ無視シテ居ラヌト云フ御話デアリマシタガ、吾々ニ於テモ左様ナ覺悟ハナケレバナラヌト信ズルノデアル、併ナガラ其御答ト事實ト違ッテ居ル、現ニ日本藍ヲ現狀ノ儘ニ置イタナラバ漸次衰頹シテ行クモノヲ政府ハ將來維持ガ出來ルト言フガ、其理由ヲ見出スコトガ出來ナイノデアル、日本藍ハ現狀ヲ維持スレバ全滅シテシマフト云フコトハ統計ノ上ニ於テ、明ニ示シテ居ルニモ拘ラズ、言明スルトコロニ於テハ農業發達ニ御注目ニナツテ居ルト言フニモ拘ラズ少シモ意ヲ用井テ居ラヌト云フノハ、之ニ依ッテ明ニ分ルト思フ、之ニ付テ具體的ノ御調ガアリマシタナラバ至極宜シイガ、漫然トシタ御答ノ外ナケレバ問フ必要ハアリマセヌ

ラウト思ヒマス、是ハ統計ヲ御覽ニナル方が違ッテ居リハセヌカト思ヒマス、試ニ外國ノ天然藍產出地方ノ統計ヲ御參考ニ少シク申上ゲテ見ヤウト思ヒマス、藍ノ產地ト致シマシテハ蘭領印度、英領印度デアリマスガ、蘭領印度ノ狀況ヲ見マスルト、九年前即チ二十三年ニ價額デ百九十万約二百萬バカリ輸出シマシタノガ、其後増減ガアリマシテ二十八年ニ至ッテハ六十七萬圓バカリニ減ッテ居リマス、ソレカラ英領印度ノ輸出額モ同ジク二十三年ニハ千二百八十萬圓デアッタノガ、三十九年ニハ四百五十萬圓ニ減ッテ居リマス、斯ウ云フヤウニ天然藍ハ我國バカリデナク、世界ノ產地ニ於テモ減少ヲ來シテ居ル有様デアリマシテ、是ハ彼ノ人造藍或ハ「コールター」ノ原料ト云フヤウモノナガ、段々工業化學ノ進歩ニ從ッテ、發達スルニ從ッテ天然藍ガ減少スルト云フノハ是ハ大勢デアラウト思ヒマス、ソレナラバ最早天然藍ト云フモノハ將來見込ハナイカ、止メテシマフカト云フトソレハ先刻申ス通り天然藍ハ天然藍ノ一種ノ特色ヲ有ッテ居リマスカラ、ソレハヤハリ殘ッテ行クモノデアラウ唯大勢ガサウ赴テ居ルノニ、此處デ外國カラ入ル染物ノ原料ニ必要ナル人造藍ヲ高クスルノハ餘程考物デアラウ、今日マデ外國カラ入ル天然藍ニ一割ノ廉イ稅ガ掛ッテ居ルサウシテ内地ノ藍ノ耕作者ハドウ云フ狀況ニアルカト云フト、成程御尋ネノ如クニ甚ダ利益ハ薄イト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、イロ／＼ノ作物ニ付テノ統計ヲ見マスと云フト、今日ノ現況デ藍ガ到底——藍作ガデス、トテモ其見込ガナイト云フヤウニハ、吾々ニハ見エマセヌ、桑畑ノ收穫ノ如キニ比較致シマスレバ相匹敵シテ居ルヤウニ見テ居リマス、併シソレハ見方が惡イカモ知レヌガ、統計カラ見マスとサウ見エマス、サウデアレバ現行ノ一割ガ續イテ行キマシタトコロガ、之ヲ以テ直ニ日本ノ藍作ガ廢滅スルト云フコトニモ行クマイト思ヒマス、ソレカラ百斤二十一圓二十錢ト云フモノハ何カラ出シタカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ四十一年ノ收入ノ統計ニ基テ此割ヲ出シマシタ、ソレカラ藍作ノ土地ノ地價ヲ修正スル意見ハドウカト云フ御問デアリマスガ、地價修正ハナカ／＼其全般ニ亘ッテ大仕事デアルノデアリマシテ、一局ノ一局部ノ收穫ノ變動ト云フヤウナコトノタメニ、一々地價ヲ修正スルト云フコトハナカ／＼出來ニクイト思ヒマス、併シ是ハ自分ノ十分ニ御答ノ出來マセヌコトデ、唯サウ考ヘルト云フコトダケヲ申上ゲマス

○川眞田徳三郎君 紺織物ヲ假リニデス、輸出スルニハ保護ヲシナケレバナラヌト云フ
必要ガアルト見テ居ルカドウカ、若シ見テ居レバ紺織物ハ如何程ノモノガ出テ居リマス
カ、紺織物ハ日本人ノ支那朝鮮ニ居留シテ居ルモノハ別トシテ、紺織物ガデス、支那朝
鮮ニ用井ラレテ居ル處ハ御分リニナリマスカドウカ、是ハ輸出品トシテ保護ヲセネバナラヌ
ト云フ場合ノ時ニハ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 紺織物ヲ輸出スルト云フコトヲ主トシテ申スノデナクシテ、一般ニ廣ク用ユル織物ノ染付ケニ用ユル原料デアルカラト斯ク云フ考デ、税ノ輕イ方が宜シイカラウト云フ考デアリマス、左様御承知ヲ……

○川眞田德三郎君　唯今ノ政府委員ノ御答ハ、此第一外國ニ向ツテ輸出スルト云フコトノ意味ヨリ本案ヲ出シタト云フ譯デナイト云フ御答デアリマスガ、今一ツハ此輸入税ヲ高クスレバ、ソレダケ高ナルト云フコトハチヨット人造藍ガデス、今現ニ政府ノ調ベテ居リマスニコロデハ二百二十圓ト云フ、ソレニ假ニ五十圓ノ關稅ヲ掛ケマスレバ二百七十

圓トナル、ケレドモ若シ二百七十圓カラ五十圓ヲ引去ツテ、元ノ二百二十圓ト云フ額ニスル場合モアラウト思ヒマス、現ニ先キニ協定シタルモノハ日本稅ヲ掛ケテ居タトコロノ價格ハ百斤三百圓ニ垂ントシテ居ル、所ガ政府ガ協定シタルモノハ二百二十九圓五十三錢ノ割合デアリマスカラ、餘程餘地ガアリマス、私ノ思フニハ若シ關稅が高ケレバ、能ク御調ベガ出來テ、今ノ御說明ノ如クニ高クスレバ高クナルト云フ御斷言ガ出來ルデアラウカ、ソレカラ、日本人ハ一人モ殖民ヲシテ居リマセヌカラ、外國人ノ手カラ神戸、大阪等ニ參リマシテ買入レテ、輸入稅ヲ廉クマケルト云フト、國庫ノ歲入ガ増加シテ、全ク吾々希望ニ反スルケレドモ、夫等ニ付テハ政府ノ見込ハ上レバ上ルホド高クナル、是以上廉クスルコトガ出來ヌト云フコトデアリマスガ、サウ云フ御調ベガ出來テ居ルヤ否ヤ、是ハ日本人ガ直輸入シテ居ルカドウカ知ラヌガ、外人ガ輸入シテ吾々ハ苦シテ居リマスカラ、今一應……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ御尋ハ、稅ヲ上ゲテモ人造藍ノ値ニ影響ヲシナイコトガアルデアラウト云フ御問ノヤウデアリマスガ、稅ガ上リマス普通ノ場合ニハドウシテモソレハ價格ガソレダケ加ツテ來ルト見ナケレバナラヌト思ヒマス、併シ稅ヲ上ゲタダケ價格ガ加ハリマスカラ、或ハソレヨリ一杯ニハナラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ商賣取引ノ間デアリマスカラ、ノ關係モ起リマセウガ、關稅率ヲ定ムルニ於テ考フベキコトハ、先ヅソレダケノ稅ヲ上ゲレバ其物ノ價格ノ上ルト云フコトハ豫想シテ稅ヲ極メナケレバナラヌト思ヒマス、稅ヲ高メテ價格ニ影響ガナイト云フコトニナレバ、ツマリ稅ヲ高メル要ガナイコトニナリマスカラ、ドウシテモ關稅率ヲ定メマス中ニ於テ稅率ヲ考ヘルニハ、ソレダケ稅ヲ上グレハ先ヅソレダケノ價格ハ上ルト見テ考ヘテ行キマセヌデハ、稅率ノ影響ト云フコトヲ知ルコトガ出來ヌト云フヤウニナルデアラウト思ヒマス

○早速整爾君 此二百四十二ニ掲ゲテアリマス「アリザリン」染料ナドト云フモノハ非常ニ外國カラ輸入ノ高ガ多イヤウデアリマス、ソレカラ此染料ノ需用ハ益々増加シテ來ルト云フ今日ノ狀況デアリマスガ、私ノ見ルトコロデハ内地ニ於テハ「アリザリン」染料ニ致シマシテモ「アニリン」染料ニ致シマシテモ、内地デハ生産ヲシナイト思フ、是等コソ思切シテ無稅ニシタ方が宜イト思ヒマスガ、私ハ此染料ニ付キマシテ、將來此日本ニ於テ機業ニ見込ガアルデアラウカドウカ、當局者ハ如何ヤウニ考ヘテ居ラル、カ御尋致シタイ、若シ今日内地ニ於テ生産シテ居ルト云フコトデアレバ其狀況併セテ伺ヒタイ、ソレカラモウ「ツ」ヴァニシユ「ノ」内地ニ於ケル生産ノ狀況ハ如何デアルカ伺ヒタイ

○政府委員(大久保利武君) 唯今早速君カラ「アニリン」染料ノ内地ニ於テ生産ノ出來ル見込ガアルカナイカト云フ御尋ニ對シテ、御答致シマスガ、唯今ノ所デハ「アニリン」染料ヲ生産スル事業ハマダ計畫ニナツタコトモアリマセヌシ、當分ムヅカシクハナイカト思ヒマスノハ、「アニリン」染料ハ御承知ノ如ク獨逸ノ輸入品デアリマシテ、彼地ニ於テ理化學進歩ノ結果、非常ニ「アンリン」染料ヲ廉ク且多量製造ルト云フコトニナツテ、獨逸日本ノミナラス、世界各國ヘ獨逸ノ殆ト專賣品ト云フ位ニナツテ居リテ、價格ノ廉ク行ク傾キヲ持ツテ居リマスシ、現ニ人造藍ノ殆ト半額デ「アニリン」染料ガ使用ガ出來ルト云フ位ナコトデアリマスカラ、當分日本ニ於テ此工業ノ起ルト云フコトハ先ヅムヅカシイト考ヘテ居リマス

○早速整爾君 當分内地ニ於テノ起業ハ見込ハ無イト云フ御話デアリマスガ、ソコデ私ノ御尋致シタイノハ、此非常ニ需用ノ多イ品物デ、内地ニ於テ起業ノ目的ガ無イト云フ風ノ、此必要ナル品物ニ對シテ一割ノ稅金ト云フモノハ理由ガ分ラナイ、他ト權衡ヲ得ナイト私ハ思フノデアリマスガ、是等ハ思切ツテ無稅ニスルト云フコトガ權衡ヲ得ルヤウニ思ハレマスケレドモ、是ハ唯ボンヤリ總テ一割トカ一割五分ニシタノデアッデ、此染料ニ向ツテ何等ノ標準モナク、ボンヤリ一割ト御定メニナツタカモ知レヌ、是ヲ無稅ニスル勇氣ハ當局者ニアリマセヌカ、ソレカラ「ヴァニシユ」ノ生産ノ事情ヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此「アニリン」染料ノ、今日日本デア出來ナイ、又當分ムヅカシイト云フコトハ他ノ政府委員カラ述ベタ通りデアリマス、併シ此一割ヲ課シタト云フコトハ、無論此稅表ヲ通シテ稅ヲ課シテ收入ヲ取ルト云フコトハ決シテ離レテ居ナイ、收入ハ如何ニ減ツテモ宜イ、關稅ノ收入ハドウナツテモ宜イト云フ風ニ考ヘテ行ケバ、日本デア出來ナイ物デ生産ノ發達トナル物ハ無稅デモ宜イカ知レマセヌガ、サウハ行カナイ、課稅ハ相當ニ上ゲテ行カナケレバナラヌ、ソレニハ各品ニ向ツテ權衡ヲ得ルヤウニ稅ヲ課シテ行ク、ツマリ稅ヲ取ルト云フ趣意ガ之ニ入ツテ居ルノデアリマス、單純ニ出來ナイ物デアアルカラ、原料品デアアルカラ、無稅ト云フ譯ニハ行キマセヌデ、關稅收入ト云フ側ヲ一方ニ於テ見ナケレバナラヌト云フ趣意デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ「ヴァニシユ」ノ御問デアリマスガ、是ハ段々日本デア出來マス

○早速整爾君 唯出來マスデハ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 生産サレテ居ルデス、ソレデアリマスカラ後ニモ段々說明シマセウガ「ヴァニシユ」ノ原料トナルヤウナ物ハ成ルベク稅ヲ輕クシテ、而シテ製品ノ「ヴァニシユ」ノ輸入ヲ成ルベク減ツテ、原料ヲ輸入シテ「ヴァニシユ」ノ原料ニナリマス二百五十四ノ雌黃「ドラゴンズブラット」斯ウ云フモノハ稅ヲ輕クシテ「ヴァニシユ」ノ製造ヲ廉クスルヤウニ稅率ヲ接排シテアリマス

○淺羽靖君 先刻政府委員ヨリ人造藍ノコトニ付テ答辯ガアリマシタガ、尙伺ツテ置キタイ點ハ、染料ノ關係ニ依ツテ織物ガ高クナルカラ、成ルベク織物ニモ影響シナイヤウニ稅率ヲ減シタト云フ御答辯ノヤウデアリマスガ、ドウモ迷ガ起ルノデ果シテサウニ云フ御意思ナラバ、德島縣ノヤウナ古來天然藍ニ專ラ從事シテ居ルトコロノモノヲ犧牲ニ供シテモ、尙織物ヲ助ケテ行クト云フ御趣意デアアルデアリマスガ、或ハ天然藍ヲ耕作スル者モ相當ニ利益ヲ收メ、又織物ノ方モ廉クシテ、織物ノ需用者ニ利益ヲ被ラシメルト云フ兩主義ヲ以テ遂行シテ行ケルト云フ御見込デアリマセウカ、此二點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ伺ヒタイノハ、此人造藍ノ輸入ハ沿ツテ年ヲ逐フテ非常ニ輸入致シマス勢デアリマス、此織物ヲ廉クスルト云フ御趣意ハ、半面御同意致シマスガ、半面考ヘマスト我國ノ西陣デアルトカ、其他地方ノ縮緬等ニ於ケル染料ノ材料ガ總テ輸入染料ニ多ク據ツテ居ル、然ルニ古來日本ノ染料デ染メタ衣服ハ、先ヅ兩親祖父母カラ譲ラレタ物モ尙子孫ガ之ヲ用ユルコトガ出來テ居ル、然ルニ近世西洋ノ染料ヲ使ツテ以來、忽チポロポロニナツテ用井ラレナクナル、無暗ニ人造藍等ノ原料ヲ知ラズシテ、廉イ「ト」云フトコロカラ之ヲ多用井ントシテ居ルガ、日本ノ五千万人ノ人間ガ、古來ノ習慣トシテ衣服ヲ「ツ」財產トシテ尊重シテ居ルトコロノ、何千万ドコロデハナイ、何億ト云ウトコロノ財

産が持久力が無クナッテ、皆ボロ／＼ニナッテシマフ、是ハ實ニ國民ニ非常ナ損害ヲ與ヘテ居ル、然ルニ我國國ハ唯外國ノ物ハ便利ナル、能ク染マルト云フヤウニ、皮想的ノ眼前ノ小利ニ迷フテ、我國民ガ非常ナ損害ヲ受ケテ居ルコトハ頓ト考ヘテ居ラナイ、是等ヲ御考ニシタナラバ、此人造藍等ノ輸入染料ニ付テハ餘程射ヲ加ヘケレバナラヌト考ヘテ居ル、政府ハ左様ニ多大ナ損害ヲ招イテモ織物ヲ廉クセシムル効能ガアルト云フ直接ノ計算デ、斯ウ云フ説ヲ主張ナサルノデアリマス、或ハ又間接上右申上ゲルヤウナ事實ニ於テ、國民ガ非常ナル損ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、是等ハ摺テ問ハヌト云フ御考デ、此稅率案ヲ御定メニナッタノデゴザイマス、ドウカ其御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 天然藍ト人造藍トノ關係ハ先刻説明ヲ申上ゲタ積リデアリマス、内地ノ藍作ガ人造藍ノタメニ壓迫ヲ受ケルコト云フコトハ私モサウデアラウト思フ、決シテ壓迫ヲ受ケナイトハ申シマセヌガ、免三角一方ハ化學工藝品トシテ非常ニ廉ク出來ル、片方ハ天然ノ氣候ニ依賴シテ人力ヲ多ク使ッテ耕作シナケレバナラヌト云フモノデアリマス、其間ノ競争ハ困難ヲラウト思ヒマス、サウカト云フデソレナラバ天然藍ヲ保護スルガタメニハドモマデモ稅率ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトニナルト、人造藍ニ向ッテハ二割ヤ三割ノ稅デハ追付カナ、四割モ五割モ稅ヲ課セナケレバ——天然藍ノ中ノ純分ノ比例カラ云フト二割ヤ三割ノ稅ヲ掛ケタツテモ追付カナ、五割モ或ハモット以上ノ稅ヲ課スルコトニシナケレバ、内地ノ天然藍ノ製造費用ト外國カラ來マス人造藍ノ價格トノ鈎合ヲ取ルコトハ出來ヌ、二割ヤ三割デハナカ／＼追付カナ、サレバト云フテ五割モ六割モノ高イ稅ヲ掛ケテ此天然藍ヲドモモ保護シナケレバナラヌカト云フコトハ、是ハ諸君ガ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ今日天然藍ノ耕作段別ガ、大ニ減リツ、アル、又苦境ニ陷ッテ居ルト云フコトハ是ハ事實デアルニ相違アリマセヌケレドモ、併ナカラ天然藍ハ先刻申ス通り一種ノ特色ヲ持ッテ居ルカラ、其方面ニ向ッテハ如何ニ人造藍ガ將來擴ガツテ來テモ、私ノ考デハ天然藍ト云フモノハ全ク無クナルモノデナイ、ヤハリ或ル程度マデハ是ガ用ヲナシ、是ガ必要ナル染色ノ材料トナルモノデゴザイマス、或ル程度マデハ人造藍ノ壓迫ヲ受クルニ相違ナイケレドモ、併シ一方ニハ天然ノ藍ハ特色ヲ有ッテ居ルカラ其點ニ於テハ無論生存シ得ルモノト思ヒマス、全ク兩立シ得ヌモノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ人造藍ヤ其他外國ノ染料ハ織物ノタメニ頗ル惡ルイ、織物ノタメニナラヌト云フ御説デアリマシタガ、必シモサウデナイヤウデゴザイマス、二百四十二ノ「アルゼリン」ノ染料ト云フヤウナモノニナリマスレバソナニ織物ノ原料ヲ傷メルヤウナコトハナイ、是ハ唯日本ガ廉イモノヲ使フト云フノデハナイ、日本タケガ使フノデハナクシテ世界各國皆使ッテ居リマス、染料トシテサウ是ガ惡ルイモノデハナカラウト考ヘマス

○山本悌二郎君 私モ此藍ノコトニ付テ御尋ネシタイノデスガ、先刻川真田君ノ御尋ニ對シテ政府委員ノ答辯セラレタコトニ依ルト、曩ニ兩院ノ協議會ニ於テ決定シタ程ノ稅率ヲ、何故ニ今回ノ改正ニ於テ引下ゲタカト云フ御尋ニ付テ、ソレハ其以來ノ形勢ガ變化シテ居ルカラデアルト云フ御答デアッタガ、ソレハドウ云フ意味カト云フト、若シ其後ノ形勢ノ變化ト云フ意味ガ其當時以來段々ニ人造藍ト天然藍ト外國カラ輸入シテ來ルモノガ、非常ニ増加シテ居ルト云フコトヲ意味スルモノデアッタナラバ、ソレハ私ハ甚ダ見

當違ヒノ御意見デハナイカト思フ、成程統計ニ依ッテ見マスルト云フト輸入人造藍ノ金額ト云フモノハ、其以來非常ニ膨脹シテ居ルニハ相違ナイガ、是ト同時ニ内地ノ天然藍ノ產出ト云フモノハ又反比例ニ減少シテ居ル、即チ此稅率ガ僅ニ一割ト云フ極メテ低キ稅率ノモノデアルガ故ニ、此稅率ノ下ニハ内地ノ藍ハ外國ノ藍ニ對抗スルコトが出來ナイ、其結果トシテ内地藍ノ產出ガ年々著シク減少シテ、サウシテ外國ノ人造藍ガ之ニ取ッテ代ッテ段々増加スル、斯ウ云フ現象ヲ大體ニ於テ現ハシテ居ル、併シ其現象ト云フモノハツマリ現行ノ稅率ガ低キニ失スルガ故ニ、低廉ナルガ故ニ此ノ如キ現象が來ッタノデアル、然ルニ其現象ヲ捕ヘテ其以來形勢ガ變化シタト云フコトハ、是ハ自ら其所以ヲ作り、其自ラ拵ヘタトコロノ現象ヲ捕ヘテ形勢ガ變化シテ居ルト云フノデアツテ、ソレハ洵ニ原因結果ヲ混同シタモノデハナルマイカト思ハレルガ、マサカサウ云フ御意見デ形勢ノ變化ト云フコトヲ御話ニナッタモノデハナカラウカト思ヒマス、政府委員ノ所謂形勢ノ變化ト云フコトハ何カ他ニ意味スルモノデアラウト思ヒマス、ソレハドウ云フ意味デアルカ形勢ノ變化ト云フノハ如何ナルコトヲ意味シテ居ルノデアルカ、ソレヲ御尋ネシタイ、ソレカラ二割三割ノ稅ヲ外國藍ノ上ニ課スルスト、ソレガタメニ織物ノ價格ノ上ニ影響及ボスト云フ御話デアッタ、成程ソレハソレニ相違ナイ、苟モ輸入稅ノ高クスレバソレダケ品物ノ價格が上ッテ來ル、上ッタ品物ヲ買フコトニナルト、ソレダケ消費若者ガ損ヲシナケレバナラヌト云フコトデアルガ、是ハ獨リ藍ノ場合ニ於テモミナラズ、凡百ノ貨物悉ク然ラザルハナイ、若モ消費者ノ利益ヲ考ヘルナラバ、有ラユル輸入品ニ對シテ何レモ五分トカ一割トカ云フ廉イ稅ニシテ置カケレバナラヌ答デアル、ケレドモマサカニサウ云フコトノ出來ヤウハナイ、ヤハリ内地ノ産業ヲ保護シナケレバナラヌト云フ意味ハナケレバナラヌ、確カニ此稅率ノ案ノ中ニ其意味ガ含シテ居ル、サウシテ見マスルト内地ノ産業ヲ發達セシムル上ニ於テ必要デアレバ、或ル程度マデノ稅率ヲ課シテ或ル程度マデ高キ品物ヲ消費者ニ買ッテ貰ハナケレバナラヌト云フコトモ亦已ムヲ得ナイコトデアルト思フ、是ハ政府委員ニ於テモ御異議ハナイト思フ、サレバ問題ノ歸著スルコトハツマリ内地ノ藍ヲ保護スルニ、其上一割カ二割モ課稅率ヲ上ゲタナラバ發達セシムルコトが出來ルカドウカト云フニ歸著スル、ソコデ私共ガ營業者カラ聞イテ居ルトコロニ依レバ、先ヅ三割位ノ稅率ニスレバ辛ウジテ外國ノモノト對抗シテ行クコトが出來ル、或ハ都合好ク行ケバ從前ノ產額マデモ恢復スルコトが出來ルト云フヤウナコトモ話ニ聞イテ居ル、併シソレハ私ハ門外漢デアルカラ、果シテ其通り行クカ行カナイカト云フコトハ分ラヌガ、兎モ角營業者其他ヲ信賴シテ居ル以上ハ先ヅ事實デアルト思フ、故ニ或ル程度マデ稅率ヲ引上ゲテ、サウシテ或ル程度マデ消費者ノ苦痛ヲ忍ビテ貰フト云フコトニ覺悟シナレバナラヌト思ヒマス、ケレドモ政府ハ二割位ニ稅率ヲ引上ゲテモ、ドウシテ内地ノ藍ハ外國ノ藍ニハ對抗スルコトが出來ナイモノデアルト云フ御見込デアルヤ否ヤト云フコトヲ第二ニ承リタイ、ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ此藍ノタメニ今日マデ祖父傳來此業ヲ營ンデ來テ居ル主ナルモノハ四國邊デアルヤウニ聞イテ居リマス、愈々今日ノ現行稅率ヲ其儘ニ改正稅率ニ於テモ採用セラル、ト云フコトデアツテ、其タメニアノ邊ノ藍ト云フモノガ漸次衰微シテ終ニ全滅ト云フコトコロマデ行クト云フコトニナリマシタナラバ、此藍ノ生産ニ從事シテ居ル農民並ニ藍ヲ製造ニ從事シテ居ル數萬ノ職工等ハ、悉ク非常ナル悲況ニ陷ラナケ

レバナラヌト云フコトハ地元の者ハ非常ニヤカマシク言フテ居ルトコロデアアル、所デ是モ併シ全體ニ大勢ノ上ニ最早人造藍ト云フモノヲ用井ル外仕方ナクモデアアルカラ、是ダケノ農民是ダケノ職工ト云フモノハ非常ナ悲況ニ陥ツテモ致方ナイ、之ヲ犠牲ニ供シナケレバナラヌモノデアアル、斯ウ云フ政府ノ御考デアアルヤ否ヤ、若シソレナラバ私ハ更ニ重ネテ御尋ネテシタイト云フモノハ、現ニ此專賣制度ニ於テハ非常ニ劣等ナ鹽田マデモ網羅シテ非常ニ生産費ガ割合ニ高ク付クトコロノ鹽ヲモ買上ケテ居ル、其鹽田ヲ保護スルタメニハ特ニ滿洲並ニ臺灣等カラシテ輸入シテ來ルトコロノ鹽ニ一定ノ制限ヲ加ヘテ、現ニ臺灣ノ如キハ私ハ確ト記憶致シメヌガ確カ八千萬斤以上ハ輸入スルコトハ出來ナイト云フコトニシテ居ル、天日製鹽等非常ニ廉ク出來ル鹽デアアル、内地ノ鹽ガ一圓二十錢デアッテアチラハ六十五錢カソコラデアアル、殆ド半價デアアル出來ルトコロノ鹽ヲ之ヲ自由ニ輸入サシタナラバ消費者ノ側ニ取ツテモ非常ナ恩惠デアアル、鹽ガ高イト云フテ今下層ノ人民ノ苦シメ居ル際ニ、若モ此廉ク出來ルトコロノ鹽ヲ開放シテ入レマシタナラバ、大變ニ廉價ナ鹽ヲ國民ニ當メサセルコトガ出來ルトデアアル、ソレニモ拘ラズ臺灣ノ鹽、滿洲ノ鹽ト云フモノハ制限シテ態ニ高イトコロノ劣等ナ鹽田カラ出來ル鹽マデ買上ケテ、サウシテ高イ鹽ヲ國民ニ當メサセテ居ルト云フコトハ何ノタメカト云ヘバ、即チ父祖傳來傳リ來リテ居ル鹽田所有者ト云フモノニ一時ニ非常ナ損害ヲ與ヘテハナラス、一時ニ産業ヲ失フヤウナコトニシテハナラナイト云フ趣意デアアル、此趣意ニ對シテ私ハ絕對的ニ惡ルイト思フテ居ラナイ、然スレバ此藍ノ如キモノト云フモノハ德島地方ニ於テハ、是ハ十州鹽田地方ニ於ケル劣等ナ鹽田ヲ持ツテ居ル處ト同シ狀況デアアル、少シモ其間ニ徑庭ハナイノデアアル、一方ニ於テハ恩典ヲ——父祖傳來ノ産業ヲ保護シテヤルト云フガタメニ態ニ高イ鹽マデ買フト云フ方針ヲ執ツテ居リナガラ、一面ニ於テハ僅カノ關稅ニ拘泥シテ多數ノ人民ノ利害ヲ犠牲ニ供スルコト云フコトハ、殆ド方針ガ此點ニ於テ矛盾シテ居ルト考ヘル、此點ニ付テ大藏省ノ政府委員ノ御考ガ如何デスカ、是ヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今山本君ノ御尋デアリマスガ、私が先刻三十九年三三割トシタガ、今回ノ改正ニハ一割トシテ出シタト云フハ形勢ノ變タノニ依ル、デアルト云フコトヲ申シタデアリマスガ、其意味ハ御承知ノ通り天然藍ノ稅率ニ付テハ外國ト協定シタノハ三十二年デアアル、三十九年ヨリマダ——前三十二年ニ既ニ一割ト云フ廉價稅ヲ協定シタデアアル、ソレカラ七年モ經ツモ三十九年ノ改正ノトキニ政府ハ原案トシテ一割稅ヲ課スト云フノ案ヲ提出シタ、ソレガ衆議院ニ於テ三割ニ修正シナツテサウシテソレガ兩院ヲ通過シタ、私ノ記憶スルところニ依レバ此問題ガ衆議院ト貴族院ト意見ヲ異ニシテ協議會ヲ開カレタト云フ御説ガアリマスガ、サウ云フコトデハナイト私ハ記憶シテ居リマス、サウ云フ成立チデアアルデアリマシテ、既ニ三十二年天然藍ト云フモノハ一割ノ協定ガ行ハレテ居ル、必ズ三十九年カラ始ツタ譯デアリ、ソコデ三十九年ニナラマデハ天然藍ノ稅率ハ既ニ一割デ五六年經過シテ來テ居ッタノデス、併シ輸入ノ狀況ヲ見マスルト云フト三十五年、六年其頃ノ輸入ノ數量ヲ見マスルト云フト餘リ多クハナイ、サウ驚ク程ノ數量ガ入ッテ居ナカッタ、ソレガ近年ニ至ツテ數量ハ大ニ増シテ來ル、ソレカラ價格ノ方ヲ見マスルト云フト、三十五年ノ平均價格ガ二百八圓デアッテモノガ、四十一年ニナルト二百十九圓價格ガ減ッテ來ル、廉クナツテズン——入ッテ來ル、

斯ウ云フ形勢デアアル、形勢ノ變更シタト云フノハ唯今申上ケルヤウナ點ヲ申シタデアリマス、値ハ廉クナツテ數量ハ近年ニ至ツテ俄ニ増シタ、斯ウ云フコトハ形勢ノ變化シタト云フコトヲ申シタデアリマス、サウ云フタメニ今回更ニ適當ナル稅率ニ此位ガ宜カラウト云フコトヲ研究シテ一割トシタデアリマス、ソレカラドノ位外國ノ藍稅ヲ掛ケタナラバ内地ノ天然藍ガ樂ニイカ、斯ウ云フデアリマスガ、茲ニ斯ウ云フ計算ヲシテ見タモノガアリマス、輸入ノ人造藍百分中九十五「パーセント」ノ純分ヲ有ツテ居ル、人造藍ノ價格ガ二百十九圓八十一錢、ソレカラ阿波產ノ百分中八「パーセント」ノ純分ヲ有ツテ居ルノガ平均價格ガ二十五圓九十二錢ト云フヤウナ割ニナツテ居ル、ソコデ純分ノ比例ヲ以テ較ベテ往キマスルト、九十圓バカリ外國ノ人造藍ノ方ガ廉イデアリマス、即チ天然藍ノ方ガ九十圓バカリ高イ、少ナクモ是ヲ差ノ付ケナケレバ、或ハ關稅トシテモ此位ナ稅ヲ掛ケナケレバ天然藍ト人造藍ノ純分ノ比例カラ往キマスルト權衡ヲ得ナイ、是ハ隨分高イ稅率ニナラウト思フデアリマス、果シテ斯ウ云フ高イ稅率ヲ藍ノ如キ染料ニ掛ケルト云フコトハ餘程考ヘモノデアラウト私ハ思フデアリマス、ソコデ物ニ依ッテハ隨分高イ稅ヲ課シテ居ルノガアルデアリナイカ、藍ニ限ッテ何ゼ掛ケラヌカト仰シヤルトデアリマスガ、外ノ三割乃至四割ト云フ稅ノモノハアリマス、アリマスケレドモ多クハ是ハ其物ヲ直接ニ消費スル飲食物デアアル、四割四割五分ノ稅ガアル、是等ハ直接ニ消費スルモノ、染料ノ如キニ至ツテハ是ガ染料ノ糸ヲ染メテ而シテ織物ニナル、織物カラ又其他ノ製作品ニナル、斯ウ云フ工業品ノ原料ニナルモノデアリマス、斯ウ云フモノハ直接消費スル品物ト違ッテ高イ稅ヲ課スノハ宜シクナカラウ、成ルベク低イ方ガ宜カラウスウ云フ趣意デアリマス、ソレカラ鹽專賣ト比較シテ段々御論ガアリマスケレドモ、鹽專賣ハ鹽專賣デア政府ガ收入ヲ得ルノ必要ト内地鹽田ノ保護ト此二ツヲ以テ成立ツテ居ル、一種特別ノ制度デアリマシテ是ト一概ニ同様ニ見テ比較論究スベキモノデハナカラウト私ハ考ヘマス

○川眞田德三郎君 三十九年ノ關稅當時ノ政府ノ百分率ノ定量分析ヲ見マスルト瓜哇ガ一割二分六厘「マドラス」ガ七分六厘「インヂコビー」ハ一割七分三厘、是ハ當時大藏省ノ技師ガ調べタモノデアリマス、之ヲ標準トシテ日本藍ニ比シ、廉價差額ヲ以テ關稅ニ當アルコトニナルノハ至極穩當デアアル、ソレニ農業ヲ保護スルコト云フ趣意カラ一割ヲ加ヘテ三割ニ政府モ同意ヲシタト云フコトデアアル、ソレカラ尙此際分析ヲシテ見テモ、獨逸人造藍ノ良品ニテ百分率ノ定量分析純藍ガ九四五一八、日本藍ノ純藍ガ一一、五五六、代價ノ點ニ付日本藍ニ比較スレバ瓜哇ハ一割五分五厘「マドラス」一割一分四厘、獨逸「インヂコビー」ハ二割四分、何レモ安直トナル、之ヲ標準トシテ決定スレバ先以テ工業者ノ害ニモナラズ、又産業ノ發達ニ付テハ此位ガ當然デアアル、之ヲ五割六割ニシナケレバ日本藍業者ノ收支償ハナイト云フコトハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレカラ先刻質問シマシタガ、第二ノ點ニ付テ硫化染料ト云フモノハ第七部ノ何レノ中ニ籠ッテ居ルノデアリマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 川眞田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、先刻人造藍ト天然藍ト比較致シマシテ、價格ヲ申シテ置キマシタガ、是ハ昨今ノ天然藍ノ輸入ノ平均價格カラ出シタノデ、唯今御話ニナリマス分析表ハ茲ニアリマスガ、是ハ三十二年ノ

時分ノ三百圓近イ天然藍ノ直打ノ時ノ比較表アリマス、當時直段ノ高イノデアリマシタガ、ツレガ近年違ッテ來タノデアリマスカラ、其差カラ生ズルモノト御承知ヲ願ヒマス、ツレカラ硫化染料ノコトハ是ハ二百四十三號「アリザリン」染料、「アニリン」染料其ノ他別號ニ掲ゲザル「コールタール染料」一種デアリマス

○森田勇次郎君 此二百五十六ノ漆ノコトヲ少シク御尋ラ致シマス、此關稅ヲ何ゼ高メナイカト云フ質問ガ澤山出マシタガ、私ハ此二百五十六ノ如キハ何ゼ無稅ニシナイカト云フ趣意ヲ承リタイ、漆器貿易ノ近頃不振ニナリマシタノハ、多ク此獨逸ノ模造漆器ノタメニ價格ノ上カラ抑ヘラレテ、漆器貿易ガ不況ニ陥ッテ居ルノデアリマスガ、其原料タル漆ノ如キハ丁度燐寸ノ場合ニ原料ヲ無稅ニシタ所以ヲ説明ニナツタノト同ジ理由デナケレバナラヌ、最モ日本漆ノ保護ノタメト云フ事柄ヲ含ンデ居ルと思ヒマスガ、ソレニハ一割五分位ノ關稅ヲ掛ケテ見タ位ハ日本漆ヲ保護スルコト云フ事柄ニハ、薄弱デアアル、日本漆ヲ保護スルニハ餘程高イ稅ヲ掛ケナケレバ支那漆ヲ防ゲコトハ出來ルカモ知レナイガ、併ナガラ僅カ位ノ關稅デ往ケルモノデハナイ、此日本漆ト支那漆トハ用途モ違ヒ、價格ノ點ニ於テモ違ウカラ、此漆ノ如キモノハ無稅ニシテ、成ルベク廉ク漆器ヲ製造セシメテ、輸出ノ販路ヲ廣メルト云フ事柄ノ方ガ國家經濟ノ上カラハ至當ナコトデハナイカト思フ、凡ソ此產業ノ保護政策ト云フコトハ動モスレバ少數者ヲ保護スルガタメニ大多數ノ人ヲ犧牲ニスルト云フ弊ガアル、此少額ノ收入ノアル產業ヲ保護センガタメニ國家經濟ノ上ニ餘程貢獻スルコトヲ貿易ヲ害スル憂ガ往々アル、漆器ノ如キハ即チツレデ、日本漆ノ製造ナルモノハ、恐ラク栽培法或ハ採收法等ノ宜シキヲ得テ居ラヌノデアアル、諸方ニ樹ガ散在シテ居ッテ、集約サレテ居ラナイ、ツレデ又製造スルノモ方法ガ宜シキヲ得テ居ラヌ、販賣スルニモ液ヲ方々カラ買集メテ、之ヲ各種ノ團體ヲ經テ需用者ノ手ニ移ル、其中ニハ種々ナル口錢ヲ要スル、斯ウ云フ譯デアルカラ、日本漆ガ十分發達シテ居ラヌト思フ、元來日本漆ハ餘程昔カラ開ケテ居ルモノデアッテ、是ハ外ノ事業ト違ッテ、近年ニ至ッテ開ケタト云フ仕事トハ違フ、昔カラ日本ニ開ケテ居タノデアアル、支那漆ガ近年入ッテ來タト云フモノハ、是ハツマリ漆器貿易ノタメ貿易品タル漆器ハ成ルベク廉ク作ラナケレバナラヌト云フ關係カラ、廉イ支那漆ヲ輸入シテ作ル、斯ウ云フ傾キニナツテ居リマス、是等ノ原料ハ無論無稅トシテ廉ク漆器ヲ作ラシテ、サウシテ貿易ノ上ニ勝ッテ占メルト云フ方ノ事柄ガ關稅政策ノ上ニ宜シキヲ得テ居リハシナイカ、此點ヲ當局者ニ御尋ラ致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 森田君ニ御答ヘ致シマス、漆ノ輸入ハ支那カラ參ルノガ多イノデアリマス、此漆ノコトニ付テハ、先年輸入稅ニ付テ大分議論ガアリマシテ、一體支那漆ハ良クナイモノデアアル、其惡イ物ヲ輸入シテ漆器ヲ作ッテ輸出スルカラ、外國ニ於ケル日本ノ漆器ノ評判カ落チル、宜シク支那漆ヲ排斥スルヤウニ高ク稅ヲ課スガ宜イト云フ御論ガアツタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、所ガ段々研究シテ見ルトドモサウデナイ、支那漆ハ收穫スルコト、ソレヲ取扱フモノガ亂暴デアアル、品質ハ決シテ惡クナイ、壁ヤ泥ヤ何カ這入ッテサウ云フモノノタメニ惡クナッテ居ルノデ、適當ニ取扱ヘバ決シテ惡クナイト云フノデ、其後ハサウ云フコトヲ言フ人ガ少ナカッタデアリマス、併シ漆ハ御承知ノ通り内地ノ舊來カラ產業デアリマシテ、明治以前カラ各藩デイロノ植樹ノコト

ヲ獎勵セラレタコトモアル、必シモ日本ニ漆ガ不適當デアルト云フモノデハナイノデアリマス、相當ニ獎勵ヲ加ヘレバ產額ヲ殖ヤスト云フ見込モアリマス、サウ云フ次第デ一概ニ稅ヲ安クシ、或ハ無稅トシ、サウシテ内地ノ漆ノ栽培ハ先ヅドウモ宜イト云フ風ニスルコトハ相當デナイダラウ、故ニ茲ニ一割五分ト云フ說ハ、塗料ノ中ノ原料的ノモノニ付テハ一割五分ハ決シテ高イ稅デハナイ、此位ノ稅掛ケテ置イテ、内地ノ漆ノ栽培ニ都合ガ好イヤウニスルガ宜イト云フノデ、無稅若クハモット輕キ稅ニナカッタト云フ譯デアリマス

○森田勇次郎君 私も無論日本ニ漆ハ適シナイカラ、ドウデモ宜イト云フ方ノ議論ヨリ無稅ヲ希望スルノデハナイ、日本ノ漆ヲ栽培スルニ付テハ、唯今モ政府委員ガ言フテ居ル如ク、特有樹木ノ栽培ニ付テハ獎勵ヲ加ヘ、或ハ又液ノ採集方法ニ付テモ傳習サセルト云フ方ノ保護ヲシテ宜カラウト思フ、日本ハ漆ノ木ノ栽培ニ適スル國デ、一説ニ日本武尊ガ漆ノ名目ヲ下シタト傳ヘル位ニ日本ノ特有物ト云フデモ宜シイ位デ、日本ニ適シテ居ル樹デアアル、之ヲ大ニ發達サセルト云フ事柄ハ必要ナコトデアアルシ、又サウシナケレバナラヌト思フ、或ハ農商務省デ唯今致シテ居ル如クニ、漆ノ樹ノ植付ニ獎勵ヲ與ヘルトカ、或ハ又傳習所ヲ設ケテ傳習サセルト云フコトモ宜シイ、元來日本漆ト支那漆ノ價ノ差ヲ見マシテモ、一貫目ニ付テ一圓八九十錢乃至二圓ノ開キガアル位デ、日本漆ノ方ガ上等デアリマスカラ、支那漆ニ百斤一割五分ノ關稅ヲ掛ケタトコロガ、支那漆ノ輸入ヲ防イデ日本漆ヲ多クスルコトハ出來ヌト思フ、而シテ日本漆器ガ惡クナカッタ原因ハ御說ノ通り支那漆ヲ使フガタメニ惡クナツタト云フノデハナクシテ、蓋シ漆ノ高イノハ賃金ガ高イ、ツレ故ニ生産費ガ高クナル、從ッテ漆ノ擬物ヲ用井テ輸出ヲスルカラ、日本ノ漆器ガ排斥サレルノデアアル、若モ廉ク漆ヲ使フコトガ出來レバ、漆器ノ信用ヲ落サヌヤウナコトモ出來ヤウト思フ、他ノ染料トノ比較ヲ取ッテ、一割五分ニシタト云フコトデアリマスガ、第八類ノ燐寸ノ原料ハ、無稅若クハ殆ド無稅ニ近イ程ノ低率ニナツテ居ルカラ、ツレト同ジ扱ヒラシテ宜カラウト思フ、無論此織物ノ如キ染料トハ違ヒマシテ、是ハ内地ノ人々ガ廣ク用井ルモノデアリマスカラ、貿易品トハ別ナ關係デアリマスガ、ツレト同ジ扱ヒニシタ方ガ私ハ適當カト思ヒマスカラ、一應當局者ノ御答辯ヲ煩ハシマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今森田君ノハ半バ御意見ノヤウニ伺ヒマシタ、先刻申述ベマシタ如ク、一割五分ノ關稅ヲ掛ケテ、ツレデハ何程ノ効モナイト云フヤウニ御覽ニナリマシタガ、百斤ニ付テ既ニ六圓八十錢ト云フ負擔ヲサセルノデアリマスカラ、之ニ付テハ私ハ相當ナ効ガアラウト思フ、物ニ依ッテハ五歩、一割位デモ相當ナル効キヲ爲スモノデアリマスカラ、一割五歩ノ關稅デアレバ必ズヤ内地ノ漆ガツレダケノ影響ヲ受ケル、斯ウ考ヘテ居リマス、無論勸業上ニ於テ苗ノ改良トカイロノ方法ヲ獎勵シマスコトハ勿論ノ話、同時ニ關稅ニ於テモ相當ナル保障ヲ與ヘテヤル方ガ相當デアラウト思ヒマス、餘リ意見ニナリマスカラ此位デ止メマス

○委員長(野田卯太郎君) 六類カラ八類ニ移ッテ開會シヤウト思ヒマスガ、如何デス

(「異議ナシ」委員長「下呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) マダ場合ガアルデヤナイカ——明日ハ十時カラ相變ラズ開會致シマス

明治四十三年二月十九日印刷

明治四十三年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局